

「東北地方の復興を願って・・・」

東北地方太平洋沖地震

“明石市消防本部 1040時間の記録”

平成23年3月11日（金）14時46分ごろ、三陸沖（北緯38.1度 東経142.9度 牡鹿半島の東南東130km付近）深さ約24kmを震源とする、マグニチュード9.0の大地震（東北地方太平洋沖地震）が東北地方を襲いました。

この地震は、被害の甚大さから後に「東日本大震災」と命名され、各地において津波等による甚大な被害をもたらし、7月28日現在で1万6千人を超える死者と、行方不明者が4千7百人を超える未曾有の大災害となっています。

また、この震災では福島第一・第二原子力発電所において事故が発生し、今なおその災害対応活動が続けられています。

この記録は、緊急消防援助隊として明石市消防本部から、派遣された隊員延べ127名の1,040時間におよぶ活動及び手記をとりまとめたものです。





このたびの東日本大震災で亡くなられた皆さまへ
心よりお見舞い申し上げますとともに
被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

明石市消防本部 職員一同

東北地方太平洋沖地震

“明石市消防本部 1040 時間の記録”

目次

表紙	
お見舞い	
目次	
東日本大震災 各地の被害状況	1 ~ 20
I 東北地方太平洋沖地震の概要	21 ~ 22
II 被害状況	23 ~ 24
III 各省庁別部隊派遣状況	25
IV 動き（国・県・明石市）	26 ~ 35
V 明石市消防本部活動概要	36 ~ 93
表紙「消防車から見た被災地」	36
はじめに	37
緊急消防援助隊	38
派遣概要	39 ~ 42
派遣隊員	39
派遣日程	39
派遣車両	40
派遣地	41
野営地	42
派遣隊の活動記録	43 ~ 92
第1次派遣隊	43 ~ 48
第2次派遣隊	49 ~ 54
第3次派遣隊	55 ~ 60
第4次派遣隊	61 ~ 65
第5次派遣隊	66 ~ 68
第6次派遣隊	69 ~ 71
第7次派遣隊	72 ~ 76
第8次派遣隊	77 ~ 80
第9次派遣隊	81 ~ 83
第10次派遣隊	84 ~ 86
第11次派遣隊	87 ~ 92
南三陸消防署歌津出張所からの手紙	93

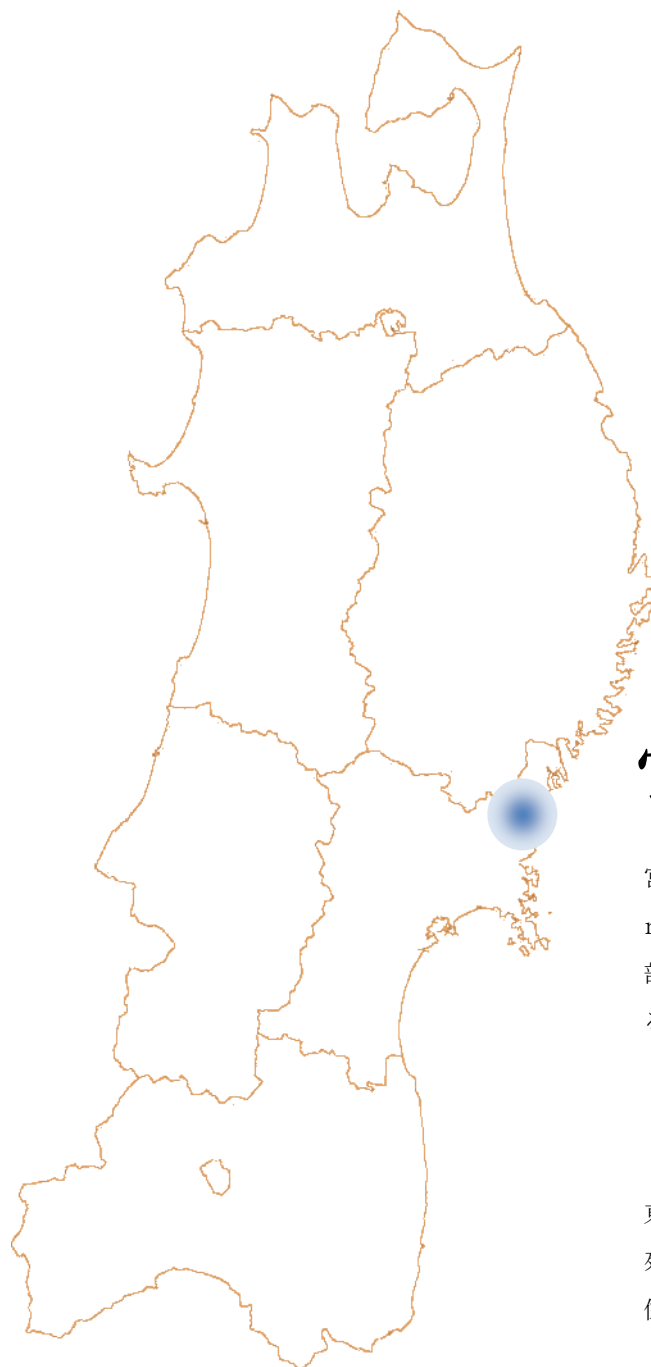


東日本大震災

各地の被害状況

「まるで新幹線突っ込んで来たようでした
海面水平線青色から戸びらを立てたような
青黒い潮変色したのです。
男は、ただ体に悲鳴をウワーアー ウワーアーと
つのらせるだけ」

（「地震から日没まで津波を確認した男」原文引用）



宮城県本吉郡南三陸町

宮城県の北東部、本吉郡の南端に位置し東は、太平洋に面し三方を標高300～500mの山に囲まれており、海山が一体となって豊かな自然環境を形成している。また沿岸部はリアス式海岸特有の豊かな景観を有し、南三陸金華山国定公園の一角を形成している。

■人口 17,666人 世帯数 5,362世帯（平成23年2月末）

■面積 163.74平方キロメートル

東日本大震災による被害状況

死者 546人 行方不明者 437人

住家被害 全壊 3,167棟

（消防庁災害対策本部 第134報による）



「津波が運んできたもの」木、ドラム缶、家までが流されてきている。



「赤い鉄筋だけが残った総合防災庁舎」

この庁舎の三階を超える津波が押し寄せ、多くの町職員の方々が犠牲となりました。最後までマイクで町民に避難を呼びかけた20代の勇気ある女子職員の方が亡くなられたのもこの庁舎です。

「マンション屋根の車」

津波により三階建てマンションの屋根に流されてきた車。





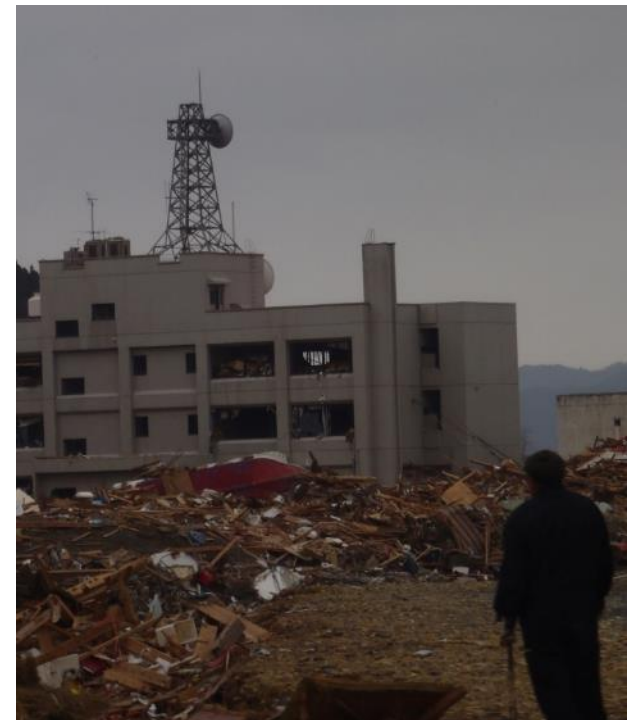
「全壊した南三陸消防署」(宮城県本吉郡南三陸町志津川御前下59-2)

避難誘導・防潮堤操作などの任務中に殉職した消防職員が勤務していた消防署。

窓に突き刺さる舟や木材、引きちぎられた電柱、消防署1階の柱が引きちぎられたように無くなっている。

「合同庁舎」

瓦礫に埋め尽くされ変わり果てた合同庁舎を見ている被災者





「橋げたからずり落ちた線路」～JR東日本 気仙沼線～

線路が大きく曲がり橋げたから落ちている。トンネルに続くはずの橋げたも破壊されている。





「津波の威力」

津波で流されてきた軽四貨物自動車、電柱にひっかかり荷台が折れ曲がっている。

「川を埋めつくす瓦礫」 ～志津川～

川は、津波で流されてきた家や木材で埋めつくされている。
流されてきた車のほとんどは、原形をとどめていない。





「河口付近」 ～志津川～

河口付近の様子を撮影。建築物がなく海までの景色が見通せる。

緑（植物）は残されておらず、道路はところどころで陥没、地元消防団の必死の活動が続いていた。

「津波浸水想定区域」

津波浸水想定区域を示す標識も流されている。





「海沿いのまち」 ～南三陸町歌津菰の浜 付近～
津波被害にあった海沿いのまち。いたるところに漁具が散乱、
建物は流され
基礎部分だけが残り、その形跡を残している。



「津波の高さ」

木の枝が折れ、さらにその上の枝には漁具が巻きついている。



海から400メートルの位置に建つ「公立志津川病院」津波は、病院の4階まで押し寄せ多くの入院患者と病院スタッフが亡くなられた。



「津波の強さ」

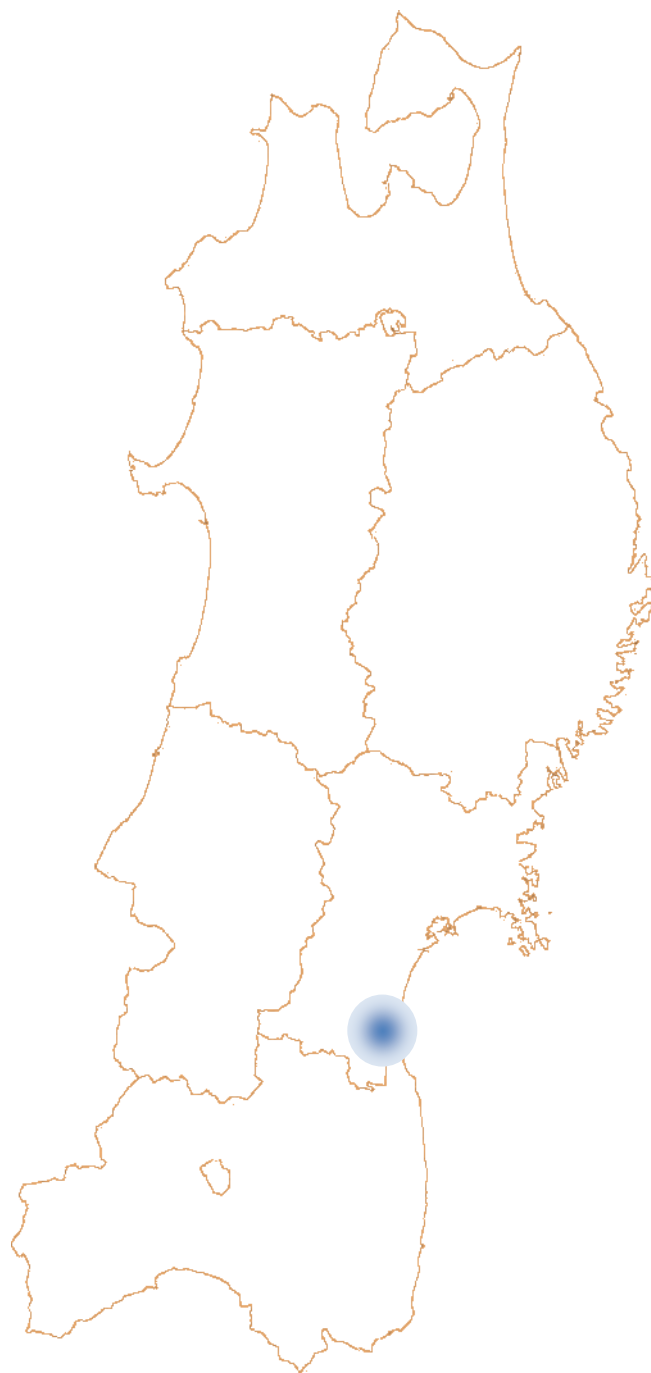
車に瓦礫となった木材が突き刺さっている。



「派遣隊員によって一番多く撮影されている被災建物」



「津波で押し流された町」



宮城県亶理郡山元町

宮城県の最東南端に位置し、東は直線的な砂浜海岸となって仙台湾に面し、西は阿武隈山地の北端をなす丘陵地帯南北に連互して角田市に接し、南は福島県と境し、北は亶理町と続いている。丘陵は標高200～300mの山地で、北部は狭く南部が広がっており、山麓部は傾斜をなして東部の平坦地へ伸び山地と海岸の間に南から北に耕地が広々と展開する。

■人口 16,695人 世帯数 5,561 (平成23年2月末)

■面積 64.48平方キロメートル

東日本大震災による被害

死者 670人 行方不明者 25人

住家被害 全壊 2,192棟

(消防庁災害対策本部 第134報による)



「海から750m」 ～JR東日本 常磐線 坂元駅～
津波により駅構内が消滅している。

山元町



ホームが、えぐりとられ、跨線橋とコンクリート造の公衆トイレ以外は流失、津波のすさまじさがうかがえる。





「海から1300m」 ～JR東日本 常磐線 山下駅～

坂元駅のひとつ北に位置する駅。駅舎は原形をとどめているが、線路内には電線が垂れ下り、漂着した瓦礫が散乱している。

津波で漂流してきたいくつもの乗用車が駅ホームに乗り上げている。

駅舎内には、津波の痕跡が残る。





「津波に流された貨物列車」 ～山寺地区～

J R 東日本常磐線 山下駅から浜吉田駅の区間で津波に流された貨物列車が民家のそばまで迫っている。





「児童90名の命を守った小学校」～山元町立中浜小学校～

窓ガラスを多く使う・海に向かってたて長に建てられるなど、津波被害を想定して建築された校舎。
周囲のすべての家屋が津波で流出するなか、この校舎の屋上に避難した児童90名の命を守った。



「ひきちぎられた家」



「1階部分をえぐりとられた家」



「おしつぶされた防波堤」

I 東北地方太平洋沖地震の概要



1 発生日時

平成23年3月11日（金曜日）14時46分ごろ

2 震源及び規模（推定）

三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東（130km付近）

深さ約24km、モーメントマグニチュードMw9.0

3 各地の震度（震度6弱以上）

震度7 宮城県北部

震度6弱 宮城県南部・中部

福島県中通り・浜通り

茨城県北部・南部

栃木県北部・南部

震度6弱 岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部

福島県会津

群馬県南部

埼玉県南部

4 津波

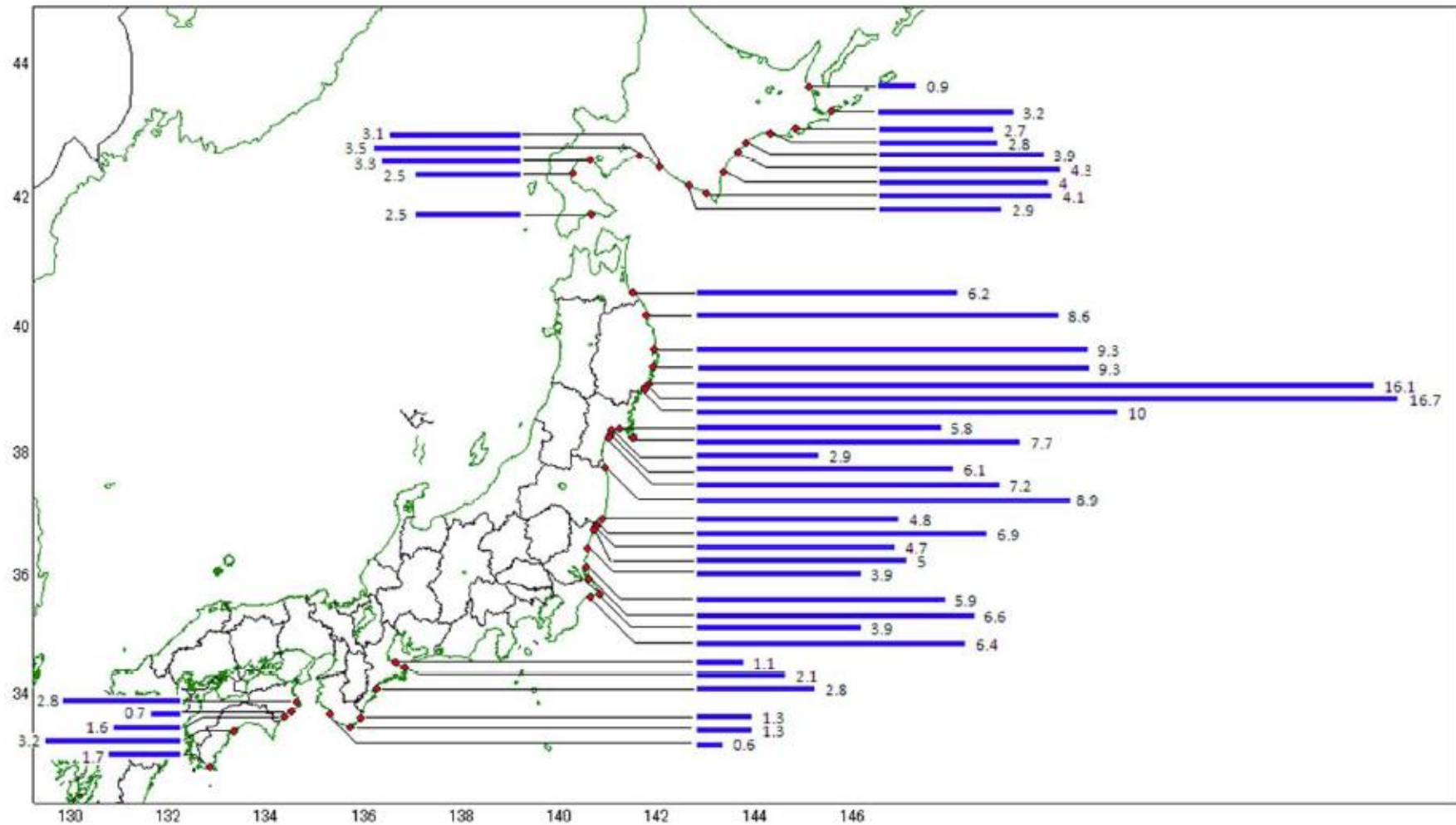
3月11日（金曜日）14時49分津波警報（大津波）を発表

津波の観測地（検潮所）

えりも町庶野	最大波	3.5m
宮古	最大波	8.5m以上
大船渡	最大波	8.0m以上
釜石	最大波	4.1m以上
石巻市鮎川	最大波	7.6m以上
相馬	最大波	9.3m以上
大洗	最大波	4.2m以上

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震 —津波の痕跡—

気象庁機動調査班による現地調査の結果（速報値）平成23年4月15日時点



主な調査地点における津波の痕跡から推定した津波の高さ（単位：m）

気象庁「東北地方太平洋沖地震の概要」より抜粋

Ⅱ 被害の状況

1 人的被害

死者 16,103人
 行方不明者 4,764人
 負傷者 5,877人

2 物的被害

全壊 110,826
 半壊 134,379
 一部損壊 502,333

都道府県名	人的被害			住宅被害			火災
	死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部破損	
北海道	1		1			5	
青森県	3	1	47	307	854	99	5
岩手県	4,999	2,131	186	21,011	3,485	4,589	26
宮城県	9,258	2,446	3,786	69,142	63,574	109,531	140
秋田県			7			4	1
山形県	3		29		1	37	
福島県	1,778	183	236	16,691	37,734	113,568	11
茨城県	24	1	695	2,544	17,587	149,513	37
栃木県	4		131	260	2,038	59,581	
群馬県	1		41		6	16,150	2
埼玉県	1		104	7	41	13,863	13
千葉県	20	2	249	783	8,500	28,945	13
東京都	7		113	13	161	3,426	33
神奈川県	4		134		11	168	6
新潟県			48	34	218	1,837	
長野県			13	34	169	494	
静岡県			54			523	1
三重県			1				
計	16,103	4,764	5,877	110,826	134,379	502,333	288

※都道府県の人的被害、住宅被害の数については、一部の市町村において詳細が確認できていないものもあるため、実際の数と異なっている。

(参考とした数値)

平成23年7月28日15時00分 消防庁災害対策本部 第134報

3 消防本部・消防団の被害状況

この震災で、青森県、岩手県、宮城県、福島県の消防職員20名が死亡し、7名が行方不明になっています。

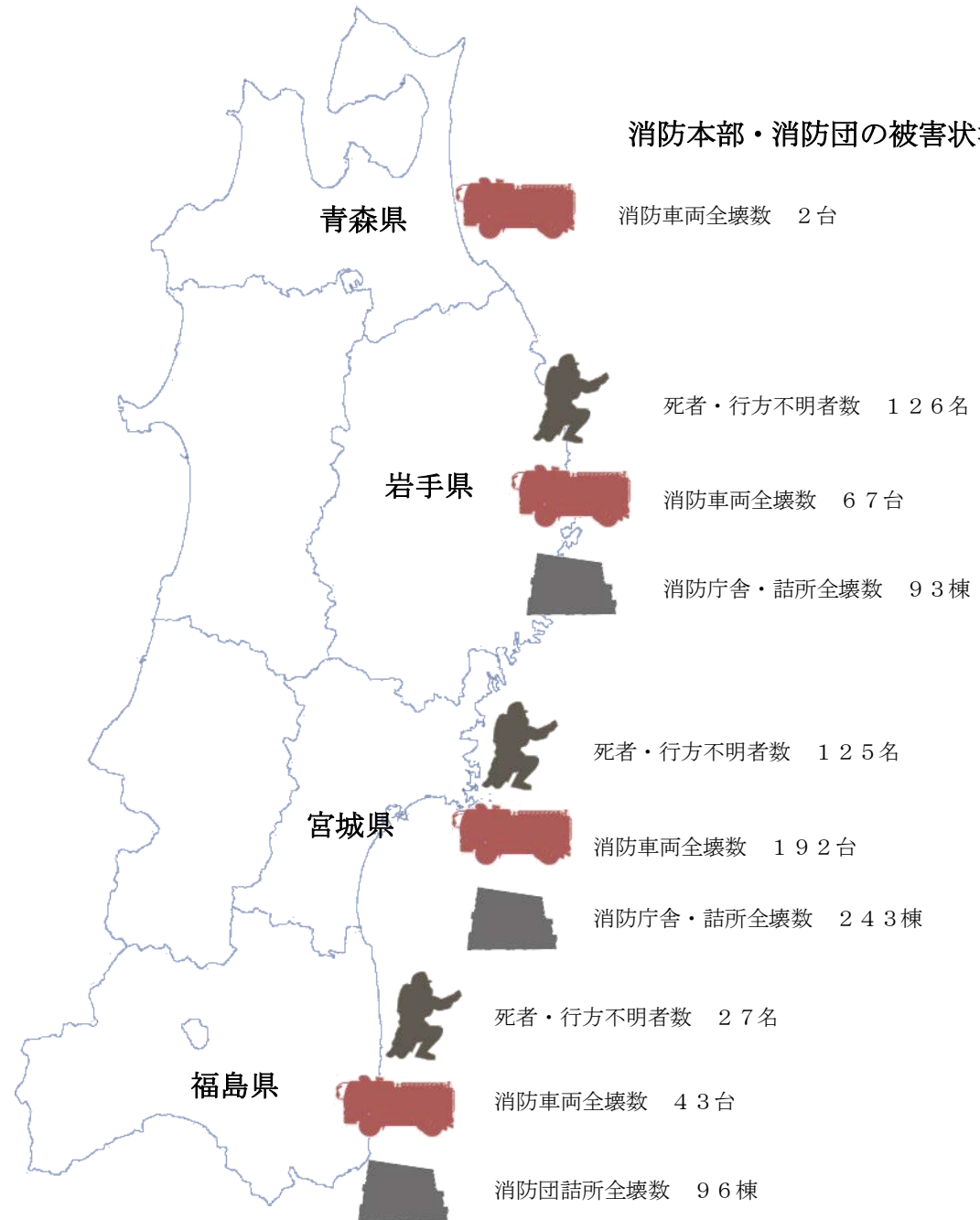
また、全壊した消防庁舎の数は16棟で、消防車両についても消防ポンプ車18台、化学車4台、救急車13台、救助工作車3台、消防艇1艇、その他の車両30台が全壊しています。

このほか、郷土愛護の精神のもとに結成されている消防団においても、岩手県、宮城県、福島県の3県で、消防団員210名が死亡、41名が行方不明になっているほか、消防団の活動拠点となる消防団詰所416箇所と消防ポンプ自動車など車両236台が全壊しています。



写真 南三陸消防署（南三陸町）

消防本部・消防団の被害状況図



※数値は、消防本部・消防団の被害数を合計したもの

Ⅲ 各省庁別部隊派遣状況

消防庁（緊急消防援助隊）

総派遣部隊 7,577隊、総派遣人員 28,620名

派遣期間 平成23年3月11日～6月6日（88日間）

警察庁

広域緊急援助隊等（活動中の人員） 約3,200名

広域緊急援助隊等（これまでに派遣された総数）約62,800名

海上保安庁

活動中の対応勢力 巡視船艇 30隻、航空機 8機、特殊救難隊等 4名

これまでの対応勢力総数 巡視船等6,504隻、航空機2,261機、特殊救難隊等2,128名

防衛省

約23,000名の派遣規模（これまでの災害派遣規模 約107,000名）

陸上自衛隊 約18,700名

海上自衛隊 約1,800名

航空自衛隊 約2,600名

原子力災害派遣部隊 約150名



IV 動き（国・県・明石市）

地震発生から緊急消防援助隊派遣終了まで

日時	国	兵庫県	明石市
3/11（金）14:46	東北地方太平洋沖地震 発生		
14:48			フェニックスにて地震情報受理
14:49	J-ALERT で 37 市町村に大津波・津波警報発信		
14:50	官邸対策室設置、緊急参集チーム召集		
15:00	緊急参集チーム協議開始		<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部「第1回 緊急消防援助隊派遣調整会議」 ・土木部（市内沿岸警備）
15:14	緊急災害対策本部設置	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県災害警戒本部設置 ・阪神南県民局災害警戒地方本部設置 ・淡路県民局災害警戒地方本部設置 	
15:25		漁船に対して避難指示	
15:30		<ul style="list-style-type: none"> ・東播磨県民局災害警戒地方本部設置 ・中播磨県民局災害警戒地方本部設置 ・西播磨県民局災害警戒地方本部設置 	第1回防災無線放送
15:35		南あわじ市 避難勧告発令	
15:37	第1回緊急災害対策本部会議 (基本方針2 全国から被災地に自衛隊、緊急消防援助隊、DMATを最大限派遣する等を決定)		
15:40	消防庁 緊急消防援助隊に対し出動指示		
15:45		淡路県民局職員を洲本市、南淡路市に派遣	
15:50			第2回防災無線放送
15:55			防潮ゲート閉鎖活動（土木部海岸課）
15:57			全ゲート閉鎖指示（県→土木部海岸課）＜県管理 66 箇所・市管理 1 箇所・国管理 19 箇所＞

日時	国	兵庫県	明石市
16:00	第2回緊急災害対策本部会議	水門操作責任者に水門の閉鎖を指示	
16:02		防災ヘリコプターを淡路方面へ出動 (警戒・情報収集)	
16:10			樋門・防潮ゲート閉鎖作業中(樋門28箇所<17:55分閉鎖>)
16:12		消防庁応急対策室から緊急消防援助 隊待機及び出動可能隊の報告の求め	
16:15		神戸市消防局に県下各消防本部に出 動準備の指示を伝達 ・避難指示発令(阿万・灘・福良・沼 島) ・避難勧告発令(松帆・湊)	
16:20		洲本市避難勧告発令(由良・内町・炬 口・上灘)	
16:25			第3回防災無線放送
16:30			・海岸パトロール(土木部海岸課) ・海岸付近広報(広報課→魚住・明石方面)(政策室→大久保方面)(予防課→ 二見方面)
16:36	「東京電力福島第一原子力発電所における事故 に関する官邸対策室」設置		
16:44			第4回防災無線放送
17:05			第5回防災無線放送
17:08			神戸市消防局から応援準備要請を受信
17:10			第6回防災無線放送
17:25		神戸県民局災害警戒地方本部設置	
18:00			明石市二見町沿岸警備解除
18:30	緊急消防援助隊出動要請(大阪府・京都府)		

日時	国	兵庫県	明石市
18:35		日赤兵庫県支部医療救護班1班13名を宮城県支部(盛岡赤十字病院)へ派遣	
18:40		消防庁に緊急消防援助隊出動可能隊数を報告	
18:42	政府調査団を宮城県へ派遣		
18:45		南あわじ市 避難指示→避難勧告に変更(阿万・灘・福良・沼島)	
19:03	「福島第一原子力発電所に係る原子力災害対策本部」設置(原子力緊急事態宣言発令)		
19:23	第3回緊急災害対策本部会議		
20:00	東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法の適応について		
20:57		緊急消防援助隊応援要請(可能隊数71隊268名)	兵庫県から緊急消防援助隊出動要請
22:00			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第1次派遣隊」出発(5隊・隊員16名)
3/12(土) 3:26		<DMAT>国から公立豊岡病院を除くDMATに対して参集拠点(伊丹空港)に移動開始を指示	
6:00	宮城県に緊急災害現地対策本部を設置		
6:40		<DMAT>公立豊岡病院1チームがドクターヘリにより福島県立医科大学病院に向け出発	

日時	国	兵庫県	明石市
6:50		<DMAT>災害医療センター・神戸大学医学部付属病院・兵庫医科大学・国立姫路医療センターの4チームが伊丹空港から自衛隊機で花巻空港に向け出発	
7:50		<DMAT>市立西脇病院医療チームが伊丹空港から自衛隊機で花巻空港に向け出発	
8:30	第4回緊急災害対策本部会議		
8:53	政府調査団を岩手県へ派遣		
10:00		・平成23年東北地方太平洋沖地震兵庫県災害対策支援本部設置 ・<DMAT>3/11 6:50 出発チーム花巻空港到着	
10:30		<DMAT>3/11 7:50 出発チーム花巻空港到着	
10:53		<DMAT>公立豊岡病院チーム福島県立医科大学病院で活動開始	
11:36	第5回緊急災害対策本部会議		
12:58		消防庁から救助任務用ヘリ1機の待機要請	
13:00		<DMAT>神戸中央市民病院・赤穂市民病院チームが伊丹空港から自衛隊機で花巻空港に向け出発	
14:00		洲本市 避難勧告解除(由良・内町・炬口・上灘)	

日時	国	兵庫県	明石市
14:20		南あわじ市 避難勧告解除（阿万・灘・福良・沼島）	
15:00	5大臣会合（国家公安委員会委員長・国土交通大臣・総務大臣・防衛大臣・防災担当大臣）		
15:14		<DMAT> 県立加古川医療センター・県立姫路循環器病センター・県立柏原病院チームが伊丹空港から自衛隊機で花巻空港に向け出発	
15:36	（福島県第一原発1号機で水素爆発）		
16:30		<DMAT> 3/12 13:00 出発チーム花巻空港到着	
17:30		<DMAT> 3/12 15:14 出発チーム花巻空港到着	
20:20		兵庫県災害警戒本部廃止	
21:40	第6回緊急災害対策本部会議 ・全国を対象とする「激甚災害」に指定		
3/13（日） 8:30	緊急参集チーム協議再開		
9:32	第7回緊急災害対策本部会議		
10:00		宮城県庁にテントによる支援連絡事務所設置のため支援連絡要員を派遣	
12:20	（東北地方太平洋沖地震のマグニチュードがマグニチュード9.0に修正される）		
14:00		健康支援・健康調査要員派遣（先遣隊として保健師2名を仙台市役所へ）	
21:01	第8回緊急災害対策本部会議		
21:38	電力需給対策本部会議		

日時	国	兵庫県	明石市
3/14 (月) 6:20	(計画停電が開始される)		
7:30			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第2次派遣隊」出発(5隊・隊員19名)
9:00		第2回平成23年東北地方太平洋沖地震兵庫県災害対策支援本部会議	
9:33	第9回緊急災害対策本部会議 (閣議により被災地域に対する物資支援について予備費約302億円の使用を決定)		
10:00	電力需給対策本部会議		消防本部「第2回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
11:00			東北地方太平洋沖地震明石市支援対策本部設置(本部会議開催)
11:01	(福島原発3号機で水素爆発)		
16:00			<ul style="list-style-type: none"> 被災地へ水道部工務課職員5名・給水車1台・ライトバン1台を派遣 全国特例市市長会の依頼でブルーシート500枚を加古川市へ搬送
3/15 (火) 6:10	(福島原発2号機 圧力抑制室付近で異音発生)		
6:14	(福島原発4号機で音がして壁に穴が開いた。3号機から煙が出ている)		
10:00			<ul style="list-style-type: none"> 消防本部「第3回 緊急消防援助隊派遣調整会議」 特例市災害時相互応援協定に基づきブルーシート200枚、オムツを加古川市へ搬送
11:00			イリジウム衛星携帯電話2台発注(情報管理課)
11:10	(福島第1原発4号機で火災)		
13:30			<ul style="list-style-type: none"> 全国特例市市長会の依頼でブルーシート200枚・成人用オムツ848枚・オムツ用替えパッド1,080枚を加古川市へ搬送
12:33	第10回緊急災害対策本部会議		
3/16 (水) 5:45	(福島原発4号機 原子炉建屋3階北西付近で火災)		
7:26	(福島原発4号機の火災 自然鎮火)		

日時	国	兵庫県	明石市
8:30		第3回平成23年東北地方太平洋沖地震兵庫県災害対策支援本部会議	
8:34	(福島原発3号機から白煙が大きく噴出)		
10:30			被災地の情報収集とニーズ把握のため防災安全課職員2名を宮城県へ派遣
12:45			3月14日に出発した給水車 岩手県盛岡市に到着
12:50			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第1次派遣隊」 帰隊(市長報告実施)
16:00	第11回緊急災害対策本部会議 (閣議により「災害対策基本法施行令の一部を改正する政令」を制定地方債発行の特例措置実施)		消防本部「第4回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
3/17(木) 9:00			市役所2階ロビーで市民からの救援物資を受付開始
9:48	(福島原発3号機に自衛隊ヘリが放水)		
10:00	厚生労働省医政局指導課通知 「救急救命士の特定行為の取り扱いについて」 (被災地の通信事情の悪化で医師の具体的な指示を得られない場合でも、法律上の違法行為に当たらない)		
13:00			消防本部「第5回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
18:00	第12回緊急災害対策本部会議		
3/18(金) 8:00			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第3次派遣隊」出発(5隊・隊員18名)
8:55			被災者への市営住宅提供受付開始(13戸)
10:00			消防本部「第6回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
11:00			災害支援連絡調整会議
15:45			3月16日に出発した防災安全課職員2名 帰庁
16:00			兵庫県・市町防災監・危機管理監等危機管理責任者会議 出席(理事)
3/19(土) 14:05	(福島原発3号機に緊急消防援助隊の消防車が放水開始)		

日時	国	兵庫県	明石市
3/20 (日) 7:05			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第2次派遣隊」帰隊
10:00		第4回平成23年東北地方太平洋沖地震兵庫県災害対策支援本部会議	消防本部「第7回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
3/21 (月) 16:03	第13回緊急災害対策本部会議		
3/22 (火) 8:30			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第4次派遣隊」出発(5隊・隊員17名)
10:00		関西広域連合宮城チーム宮城県北部沿岸市町支援本部 設置	・消防本部「第8回 緊急消防援助隊派遣調整会議」 ・東北地方太平洋沖地震明石市支援対策本部会議
3/23 (水) 10:00			消防本部「第9回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
15:00			宮城県気仙沼市へ避難所運営支援のため職員を派遣
3/24 (木) 5:50			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第3次派遣隊」帰隊
10:00			消防本部「第10回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
3/25 (金) 7:50	第3回電力需給緊急対策本部会議		
10:00			・消防本部「第11回 緊急消防援助隊派遣調整会議」 ・避難所における健康管理等支援のため宮城県仙台市へ保健師2名を派遣
16:00			宮城県気仙沼市へトイレットペーパー6,000巻・ボックスティッシュ480箱・割り箸10,000膳を提供
3/26 (土) 8:30			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第5次派遣隊」出発(5隊・隊員17名)
3/28 (月) 6:55			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第4次派遣隊」帰隊
8:55			東北地方太平洋沖地震被災者支援相談窓口を開設
10:00			消防本部「第12回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
16:00			特例市災害時相互応援協定に基づき茨城県水戸市へ水2,400本を発送
3/29 (火) 10:00			消防本部「第13回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
3/30 (水) 10:30			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第6次派遣隊」出発(3隊・隊員10名)
10:45			消防本部「第14回 緊急消防援助隊派遣調整会議」

日時	国	兵庫県	明石市
3/31 (木) 9:10			東北地方太平洋沖地震明石支援対策本部会議
14:30			消防本部「第15回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
18:47	第14回緊急災害対策本部会議		
4/1 (金) 6:30			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第5次派遣隊」 帰隊
17:31	(東北地方太平洋沖地震による災害及びこれに伴う原子力発電所事故による災害が「東日本大震災」と呼称される)		
4/3 (日) 10:00			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第7次派遣隊」出発(3隊・隊員10名)
4/5 (火) 6:40			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第6次派遣隊」 帰隊
4/6 (水) 10:00			消防本部「第16回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
4/7 (木) 10:27			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第8次派遣隊」出発(3隊・隊員6名)
4/8 (金) 13:00			消防本部「第17回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
4/9 (土) 6:35			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第7次派遣隊」 帰隊
4/11 (月) 10:27			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第9次派遣隊」出発(2隊・隊員5名)
13:00			消防本部「第18回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
14:45	第15回緊急災害対策本部会議		
4/12 (火) 13:00			消防本部「第19回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
4/13 (水) 6:50			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第8次派遣隊」 帰隊
13:00			消防本部「第20回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
4/14 (木) 14:00	東日本大震災復興構想会議		市長が宮城県気仙沼市災害対策本部を訪問(14日～15日まで)
4/15 (金) 10:30			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第10次派遣隊」出発(2隊・隊員5名)
13:00			消防本部「第21回 緊急消防援助隊派遣調整会議」
4/17 (日) 6:33			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第9次派遣隊」 帰隊

日時	国	兵庫県	明石市
4/18 (月)			明石市社会福祉協議会が災害ボランティアを募集開始
9:00			被災宅地危険度判定士2名を宮城県仙台市へ派遣
4/19 (火) 10:30			明石市消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第11次派遣隊」出発(1隊・隊員5名)
4/21 (木) 6:45			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第10次派遣隊」帰隊
4/24 (日) 5:50			消防本部「緊急消防援助隊兵庫県隊第11次派遣隊」帰隊 兵庫県隊の東日本大震災への派遣が終了する

参考資料

- ・政府 緊急災害対策本部 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について」平成23年7月26日(17:00)
- ・兵庫県災害警戒本部 「平成23年3月11日に発生した三陸沖を震源とする地震について」(第1報)平成23年3月11日(18:00)
「平成23年東北地方太平洋沖地震について」(第2報)平成23年3月11日(21:45)
「平成23年東北地方太平洋沖地震兵庫県災害対策支援本部会議資料(第3報)平成23年3月12日
「平成23年東北地方太平洋沖地震について」(第4報)平成23年3月12日(18:30)
「平成23年東北地方太平洋沖地震について」(第5報・最終報)平成23年3月12日(22:30)
- ・東日本大震災明石市支援対策本部 「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について」(第1報)平成23年3月14日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について」(第2報)平成23年3月15日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について」(第3報)平成23年3月16日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について」(第4報)平成23年3月22日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について」(第5報)平成23年3月25日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について」(第6報)平成23年3月28日



3
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

4
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

V 明石市消防本部活動概要

「消防車から見た被災地」

A photograph showing the aftermath of a disaster. In the foreground, there is a large pile of dark, muddy debris, including what appears to be a red fire truck or piece of equipment. In the background, a building has been severely damaged, with its structure exposed and debris scattered around. The scene is desolate and shows the extent of the destruction.

はじめに

平成23年3月11日22時00分、
明石市消防本部から
緊急消防援助隊として、
16名の隊員が消防車両5台に分乗、
車に積み込めるだけの資機材を積み込み
被災地へ向かった

くりかえす余震、錯綜する情報・・・

被災地入りした隊員が目にしたものは
迫りくる大津波から何百人もの人を避難させ
その任務を終え、
枯れ果てた川の中で
静かに横たわる
「消防車」でした・・・

緊急消防援助隊

Emergency Fire Response Teams

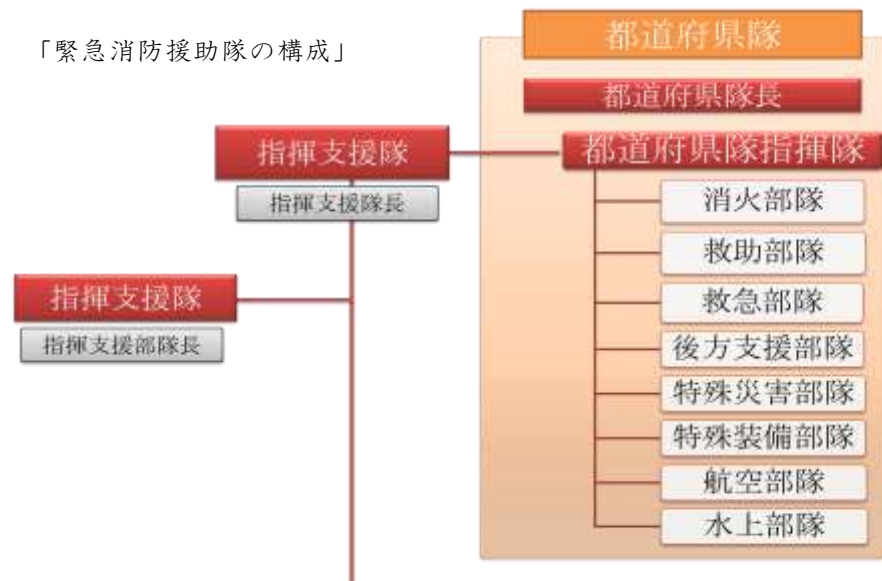
緊急消防援助隊は、6,434人の尊い人命を奪った阪神・淡路大震災での教訓をもとに、平成7年度に創設、その後、平成16年4月法律に基づいた部隊になりました。

被災地の消防だけでは対処できない大規模災害等での活動をその任務とし、現在、明石市消防本部では、消火部隊4、救助部隊1、救急部隊2、後方支援部隊1、特殊災害部隊2の合計10隊を登録しています。

明石市消防本部では、平成16年7月、福井県北部を中心とした豪雨（福井豪雨）による被災地へ、緊急消防援助隊として派遣を行ったのをはじめに、今回の東日本大震災で二度目の派遣となりました。

また、この震災では、緊急消防援助隊発足後、初めて全都道府県の緊急消防援助隊が出動した災害となりました。

図 「緊急消防援助隊の構成」



写真「仙台南部道路で待機する緊急消防援助隊（兵庫県隊）」

派遣概要

Out Line

隊員派遣

平成23年3月11日20時57分、消防庁長官から兵庫県隊に対し、緊急消防援助隊の派遣要請がありました。

この要請に基づき、明石市消防本部では、3月11日から4月24日までの間に延べ267隊、910名の隊員を被災地へ緊急消防援助隊として派遣しました。

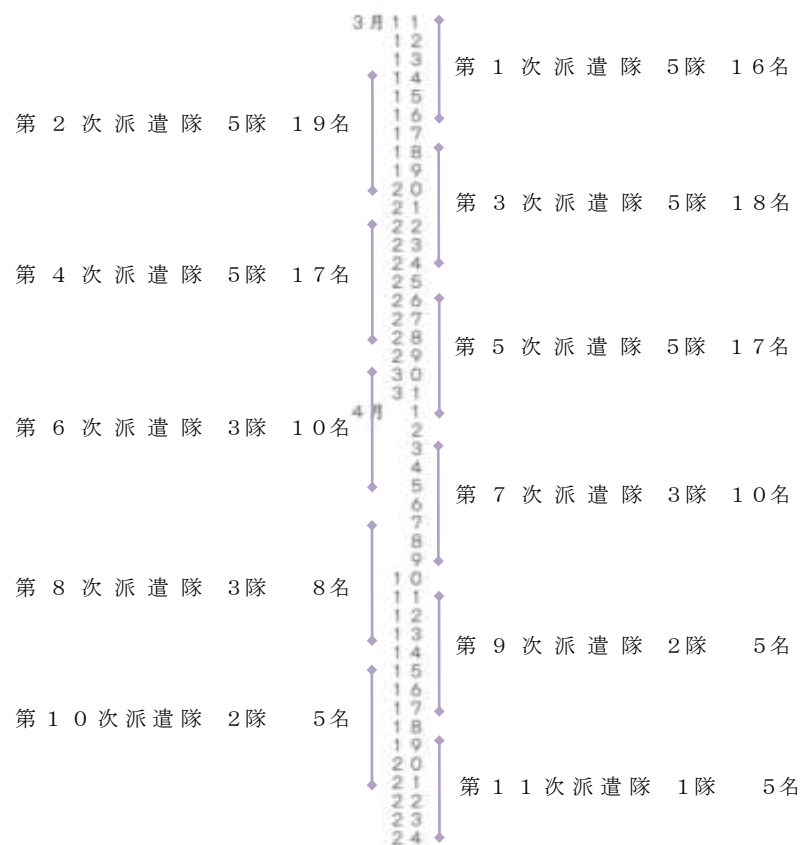
今回の緊急消防援助隊の派遣では、その甚大な被害により長期間、隊員派遣が必要なことや、被災地到着までに約22時間を要することなどから、第2次派遣隊からは、被災地での隊員の活動時間を96時間(4日間)と定め、第11次派遣隊まで順次、派遣が行われました。

また、被災地に隊員が到着後、迅速な消防活動を展開できるように、第2次派遣隊の派遣からは、民間事業者のバスを利用した隊員派遣が行われました。



写真「帰隊報告をする第1次派遣隊」

派遣日程



派遣概要

Out Line

派遣車両

明石市消防本部では、第1次派遣隊から緊急消防援助隊に登録する消火中隊1、消火隊1、救助隊1、救急隊1、後方支援隊1の計5隊を被災地へ派遣、以降、被災地での需要に応じた派遣を行いました。

今回の派遣において、特にその有効性が立証された車両は、明石市消防本部が後方支援隊として派遣した、平成22年度に総務省消防庁から全国の都道府県に1台（計47台）ずつ配備された「災害支援車」で、配備後、間もない出動となりましたが、ライフラインの途絶した被災地でも搭載されたジェネレーター（発電機）で電気を発電し、あらゆる情報伝達機器の使用や、夜間の会議開催を可能にするなどその高い機能性が確認されました。



写真 「災害支援車」



写真 「災害支援車（夜間）」



写真 上左「連絡車（消火中隊）」



写真 上右「救助工作車」



写真 下左「タンク車」



写真 下右「救急車」

派遣概要

Out Line

派遣地

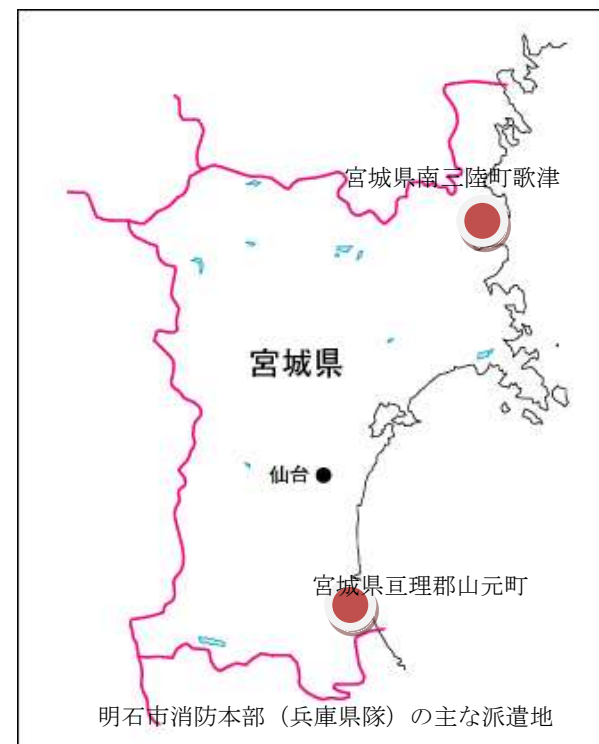
各都道府県の緊急消防援助隊の派遣地については、消防庁長官が決定し各都道府県に指示が出されます。

神戸・阪神・但馬・東播・西播ブロック内の緊急消防援助隊に登録する各消防本部（局）は、消防庁長官の指示を受けた後、兵庫県隊の集結場所である「名神高速道路 桂川パーキング（京都市）」に集結、その後被災地に向け出発します。



地震発生当日に出動した兵庫県隊第1次派遣隊も集結後、東京方面への派遣指示を受け走行していましたが、3月12日午前3時59分ごろ、長野県北部を震源とする震度6強の地震が発生、急遽、派遣地が長野県に変更されるなど、刻一刻と変化する状況に対応するために派遣地が変更されました。

その後の派遣隊については、宮城県南三陸町歌津方面、亶理郡山元町方面へ派遣され活動を行いました。



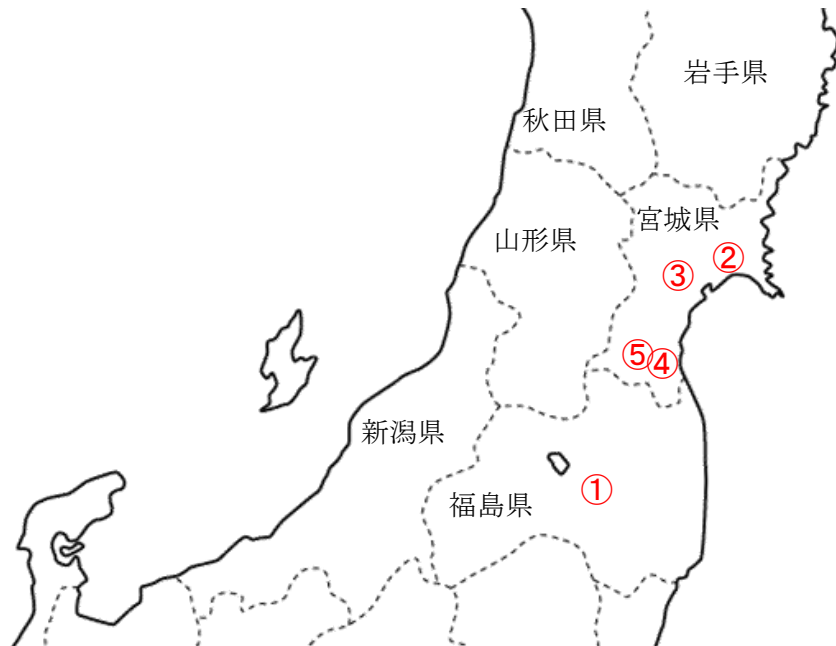
派遣概要

Out Line

野営地

第1次派遣隊から第11次派遣隊までの派遣中に福島県から宮城県にまたがり6カ所の野営地が設定されました。

この野営地は、派遣された隊員の宿泊地となったほか、兵庫県隊の活動方針が決定される場として活用されました。



野営地一覧

- ① 郡山カルチャーパーク（福島県郡山市安積町成田字東丸山61）
- ② 石巻市総合運動公園（宮城県石巻市南境字新小堤18）
- ③ 宮城県総合運動公園（宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1）
- ④ 山元町立山下小学校（宮城郡亶理郡山元町山寺字樋前12）
- ④ 山元町立山下中学校（宮城郡亶理郡山元町山寺字畑中29）
- ⑤ 角田市総合体育館（宮城県角田市枝野字青木155-31）

※山元町立山下小・中学校は、隣接地にあるため地図上では同じ位置とした。



写真 石巻市総合運動公園



写真 宮城県総合運動公園

派遣隊の活動記録



第1次派遣隊

- 3月11日 22時00分 第1次派遣隊 明石市消防本部から
兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
- 23時00分 兵庫県広域防災センター 到着
（東播・西播消防本部集結後、名神高速道路「桂川SA」
に向け出発）
- 12日 0時45分 名神高速道路「桂川PA」到着
（阪神・但馬・神戸隊と合流後、東京方面を目指し出発）
- 2時30分 名神高速道路「多賀SA」到着
- 4時20分 中央自動車道「恵那峡SA」到着
- 5時30分 中央自動車道「恵那峡SA」出発
（長野県で地震発生＜震度6強＞のため、目的地が長野県に
変更される。）
- 7時55分 長野自動車道「梓川SA」到着
- 8時30分 長野自動車道「梓川SA」出発
- 9時10分 上信越自動車道「松代PA」到着
- 9時45分 上信越自動車道「松代PA」出発
- 10時45分 長野県集結場所 到着
（長野県飯山市大字常盤久保通り A・コープみゆき店）
- 12時55分 長野県集結場所 出発
（長野県下内水郡栄村方面への派遣がキャンセルされ、目的
地が福島県に変更される。）
- 14時10分 上信越自動車道「東部湯の丸SA」到着
- 14時30分 同SA 出発
- 16時10分 関越自動車道「赤城高原SA」到着
- 16時30分 同SA 出発



「兵庫県広域防災センターから被災地へ向かう兵庫県隊」

（白ラインは第1次派遣隊の被災地までの主な道のりを示したものの。）



「長野県集結場所に到着した兵庫県隊隊員」

- 18時15分 関越自動車道「越後川口SA」到着
 18時30分 同SA 出発
 20時00分 磐越自動車道「阿賀野川SA」到着
 (到着後、野営地「郡山カルチャーパーク」に向け出発)
- 13日 0時35分 「郡山カルチャーパーク」到着 野営地設営
 1時30分 野営地設営完了(設営後、仮眠)
 6時00分 活動準備(車両・資機材整備、活動方針調整等)
 9時45分 「郡山カルチャーパーク」出発
 (宮城県亶理郡山元町での活動指示を受けたため、東北自動車道「国見SA」に向かう。)
- 11時30分 東北自動車道「吾妻PA」到着・出発
 12時00分 東北自動車道「国見SA」到着・待機
 13時04分 同SA 出発
 (活動地である宮城県亶理郡山元町へ)
- 14時30分 宮城県亶理郡山元町「山元町立山下中学校」到着
 (到着後、現場視察・救急活動・野営地設営を行う。)
- 22時30分 活動調整会議
- 14日 0時00分 仮眠
 (救急隊は、救急活動に従事)
- 5時00分 活動準備(車両・資機材整備、活動方針調整等)
 7時00分 「山元地区」へ検索活動のため出発
 8時00分 「山元地区」到着・検索活動開始
 (JR常磐線 山下駅周辺)
 8時50分 「JR常磐線 山下駅」周辺の検索活動を中止
 (他地域での活動のため)
 9時20分 「山元町立山下中学校」到着
 11時00分 「山元町立山下中学校」出発
 (目的地 宮城県庁)
 13時40分 「宮城県庁」付近 到着・指示待ち待機



「郡山カルチャーパーク内の野営状況」



「翌日の活動に向け現地調査と調整を行う隊員」



「山下駅前設置された現地指揮所。この地点を基点としてこの日の検索活動が行われた。」

- 14時10分 「宮城県庁」付近 出発
 (「宮城県石巻市」での活動指示を受け、野営地
 となる「石巻市総合運動公園」に移動)
- 17時00分 「石巻市総合運動公園」到着
 活動準備(車両・資機材整備、活動方針調整等)
- 22時00分 仮眠
- 15日 5時00分 活動準備(車両・資機材整備、活動方針調整等)
- 6時00分 「石巻市総合運動公園」出発
 「ひころの里」(宮城県本吉郡南三陸町)を野営地とするため
- 7時30分 「ひころの里」到着
- 8時00分 「宮城県本吉郡南三陸町歌津葦の浜」へ検索活動のため出発
- 8時30分 「宮城県本吉郡南三陸町歌津葦の浜」到着
- 8時50分 「宮城県本吉郡南三陸町歌津葦の浜」検索活動開始
- 13時00分 「宮城県本吉郡南三陸町歌津葦の浜」検索活動終了
 (石巻市総合運動公園へ移動)
- 16時08分 「石巻市総合運動公園」到着
- 18時00分 第2次派遣隊と引き継ぎ、その後、現場引き揚げ
- 16日 12時50分 明石市消防本部へ帰隊



「石巻市総合運動公園 日本全国の緊急消防援助隊が集結(写真奥 札幌市)」



「道路はいたるところで陥没し崩れ落ちている」



「活動前に集結する隊員」



「行方不明者の検索を行う隊員」



「行方不明者の検索を行う隊員」



隊員手記

普段と変わらない生活をしていた状況が
一瞬にしてさらわれてしまった現実を
信じられなかった

そこにあった笑顔を
一瞬にしてさらっていった現実を
信じたくなかった

果たしてわたしたちの力で
救えるものがあるのだろうか

そこに要救助者がいるかどうかもわからず
手当たり次第 探し続けた

悴む手で 津波により流された瓦礫の下を
懸命に 探し続けた

何もしていない
何もできない わたしたちに
暖かい労いの言葉がかけられる

忸怩たる思い

わたしたちにできる事
すべてをやろうと 心に決めた
求められ続ける限り

大災害の先にあるものを
わたしたちは 探し続けなければならない





第2次派遣隊

3月14日	7時30分	第2次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	8時40分	兵庫県広域防災センター到着
	9時45分	兵庫県広域防災センターから石巻市総合運動公園に向け出発
	10時40分	名神高速道路「桂川PA」到着
	11時10分	名神高速道路「桂川PA」出発
	12時10分	名神高速道路「多賀SA」到着
	12時50分	名神高速道路「多賀SA」出発
	13時55分	北陸自動車道「南条SA」到着
	14時15分	北陸自動車道「南条SA」出発
	15時55分	北陸自動車道「小矢部川SA」到着
	16時20分	北陸自動車道「小矢部川SA」出発
	18時05分	北陸自動車道「名立谷浜SA」到着
	18時30分	北陸自動車道「名立谷浜SA」出発
	20時00分	北陸自動車道「黒崎PA」到着
	21時00分	北陸自動車道「黒崎PA」出発
	21時30分	磐越自動車道「阿賀野川SA」到着（警察検問）
	21時45分	磐越自動車道「阿賀野川SA」出発
	22時50分	磐越自動車道「磐梯山SA」到着
	23時25分	磐越自動車道「磐梯山SA」出発
15日	0時50分	東北自動車道「国見SA」到着
	2時30分	東北自動車道「国見SA」出発
	3時20分	東北自動車道「泉PA」到着
	3時45分	東北自動車道「泉PA」出発
	5時20分	「石巻市総合運動公園」到着
	7時10分	「宮城県本吉郡南三陸町」に向け出発
	8時30分	「宮城県本吉郡南三陸町（国道398号）」付近に到着待機



「兵庫県広域防災センターに集結する隊員」



「信号機は消え、道路には緊急車両が絶えず行きかう」



南三陸町立 入谷小学校に集結する兵庫県隊

12時00分 南三陸町立 入谷小学校（宮城県本吉郡南三陸町入谷字童子下）に集結
 12時30分 救助隊のみ現場活動のため2次指揮所へ向かう
 13時00分 救助隊活動予定地が、検索終了していたため入谷小学校へ引き揚げ
 14時30分 「石巻市総合運動公園」到着、指揮所設置
 17時00分 第1次派遣隊と引き継ぎ
 19時00分 活動準備（車両・資機材整備、活動方針調整等）
 21時30分 ブロック長会議
 22時55分 ブロック長会議終了
 23時00分 東播ブロック連絡会議
 23時30分 東播ブロック連絡会議終了
 16日 5時30分 活動準備（車両・資機材整備、活動方針調整等）
 7時30分 宮城県本吉郡南三陸町方面へ向け出発（消防・救助隊）
 南三陸町立歌津中学校（避難所）に向け出発（救急）
 9時30分 宮城県本吉郡南三陸町（ひころの里）到着（消防・救助隊）
 10時30分 活動目的地（宮城県本吉郡南三陸町寄木地区）に向け出発
 10時57分 出動途上、目的地の検索活動が終了したため国道45号上で待機
 11時09分 兵庫県隊指揮隊から宮城県本吉郡南三陸町志津川地区への移動指示を受け移動開始
 11時30分 南三陸町立歌津中学校（避難所）到着（救急隊）避難所内の救急対応を開始
 12時15分 救急搬送（57歳の男性 気仙沼市立病院へ収容）
 12時23分 宮城県本吉郡南三陸町志津川地区に到着 同地区の検索活動を開始
 13時30分 宮城県本吉郡南三陸町志津川地区の検索活動終了 ひころの里へ引き揚げ
 14時30分 ひころの里 到着待機
 17時00分 ひころの里から引き揚げ
 18時00分 南三陸町立歌津中学校（避難所）の警備終了（救急）
 18時00分 「石巻市総合運動公園」到着（消防・救助隊）
 22時30分 ブロック長会議
 23時45分 ブロック長会議終了
 23時50分 東播ブロック連絡会議
 17日 0時30分 東播ブロック連絡会議終了



「夜遅く雪が降り出した」



「傷病者を搬送した救急隊（気仙沼市立病院）病院駐車場には仮設診療所が設置されている」



- 5時30分 活動準備（車両・資機材整備、活動方針調整等）
- 8時40分 「石巻市総合運動公園」出発（救助隊）
（宮城県本吉郡南三陸町志津川地区と兵庫県隊指揮隊との無線中継業務のため）
- 9時25分 無線中継業務出動中の救助隊「三陸自動車道 河北IC」にて待機指示
- 11時26分 救助隊、東播隊と「三陸自動車道 河北IC」で合流
- 11時30分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」での活動指令を受け向かう。
- 12時00分 兵庫県隊指揮隊から活動地区の変更指示
「宮城県本吉郡南三陸町戸倉波伝谷地区」での活動指示を受け出発
- 13時00分 東播ブロック救急隊長 調整会議
- 13時30分 「宮城県本吉郡南三陸町戸倉地区」到着
- 14時00分 「波伝谷地区」への車両進入不可、徒歩にて向かう（車両は国道45号上に駐車）
- 15時00分 兵庫県隊救急隊長調整会議（救急隊）
- 15時00分 「波伝谷地区」到着・検索活動開始
- 16時00分 「波伝谷地区」検索活動終了 徒歩にて車両駐車位置へ向かう
- 18時00分 「宮城県本吉郡南三陸町戸倉地区」到着（石巻市総合運動公園へ引き揚げ）
- 19時15分 「石巻市総合運動公園」到着
- 21時00分 ブロック長会議開催
- 22時00分 ブロック長会議終了
- 22時20分 東播ブロック連絡会議
- 18日 0時15分 東播ブロック連絡会議終了
- 5時30分 活動準備（車両・資機材整備、活動方針調整等）
- 7時30分 活動目的地「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」に向け出発
- 9時00分 活動目的地「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」到着
- 9時20分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」の検索活動開始
- 10時05分 救急出動（検索現場で急病人発見のため）
- 11時20分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」の36キロLPGボンベ漏洩事案に対応
- 12時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」の検索活動一時中断
- 13時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」の検索活動再開
- 15時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」の検索活動終了



「積雪で各車両にはタイヤチェーンが装着された」



「瓦礫が散乱、消防車両の進入が困難であったため隊員の移動は徒歩が中心となった」



「瓦礫のなかを検索する隊員」

	15時30分	「宮城県本吉郡南三陸町志津川地区」より引き揚げ
	17時00分	「石巻市総合運動公園」到着
	20時00分	ブロック長会議
	22時00分	ブロック長会議終了
	22時20分	東播ブロック連絡会議
	23時00分	東播ブロック連絡会議終了
19日	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	9時00分	第3次派遣隊と引き継ぎ（活動現場及び野営地）
	13時10分	現場引き揚げ
20日	7時05分	明石市消防本部へ帰隊



写真上 「瓦礫にふさがれた道を歩き活動現場へ向かう隊員」

写真下 「倒壊した家屋の屋根にのぼり検索する隊員」



隊員手記

自然の力に驚愕しました
映像を通じその惨状を目に焼き付け
被災地に足を踏み入れた
つもりだったのに・・・
その凄惨な状況を理解したうえで
赴いたつもりだったのに・・・

言葉が出なかった・・・

3月16日

兵庫県隊200数十名の一員として
悔いを残さないように活動することを誓い
被災地に入りました

そんな思いとは裏腹に
生存者を助け出すことはできなかった
そんなわたしたちにも
沿道に立つ地元の方々は
額が膝につくほど、深々と頭を下げてくれる
涙がこみあげてきた・・・

阪神淡路大震災の時、入庁二年目のわたしには
知識、経験もなく被災地では
隊長の後ろを離れないよう
夢中でついて行くだけで精いっぱいだった
今回の派遣では、一隊を任された小隊長として
臨んだ現場でもあった

川を埋め尽くす瓦礫・・・
津波に流されてきた船・・・

泥にまみれた子ども用の小さな
ライフジャケットを足元に見つけた
避難する時、親がわが子に着けさせたのだろうか
「助かったのか・・・」
同じ子を持つ親として、胸が締め付けられる

被災地では、消防だけではなく様々な人が
様々な支援活動を行っていた
人を助けるのは、やはり人でなければできない
消防職員も周りの人に支えられているからこそ
自らの命をかけて、頑張れるのだと思う

災害がふたたび起これば
ひとりの消防職員として
また、人として
現場活動に就き
「今度こそは」という気持ちで臨むつもりだ

隊員手記

「使命感」に比例した「無力感」
この無力感に
うちひしがれるだけでなく
この「無力感」を「使命感」に
変えてこそ
我々の派遣された意味がある





第3次派遣隊

3月18日	8時00分	第3次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	8時40分	兵庫県広域防災センター到着
	11時00分	兵庫県広域防災センター出発
	12時10分	名神高速道路「桂川PA」到着 兵庫県隊各ブロックと合流
	12時50分	名神高速道路「桂川PA」出発
	13時50分	名神高速道路「多賀SA」到着
	14時20分	名神高速道路「多賀SA」出発
	15時20分	北陸自動車道「尼御前SA」到着
	15時40分	北陸自動車道「尼御前SA」出発
	17時05分	北陸自動車道「小矢部川SA」到着
	17時20分	北陸自動車道「小矢部川SA」出発
	18時00分	北陸自動車道「有磯海SA」到着
	19時40分	北陸自動車道「有磯海SA」出発
	20時35分	北陸自動車道「名立谷浜SA」到着
	21時00分	北陸自動車道「名立谷浜SA」出発
	22時10分	北陸自動車道「黒崎PA」到着
	22時45分	北陸自動車道「黒崎PA」出発
	23時15分	磐越自動車道「阿賀野川SA」（東北自動車道通行申請）
3月19日	0時15分	磐越自動車道「磐梯山SA」到着
	0時45分	磐越自動車道「磐梯山SA」出発
	2時30分	東北自動車道「国見SA」到着
	3時30分	東北自動車道「国見SA」出発
	5時00分	三陸自動車道「矢本PA」到着
	5時15分	三陸自動車道「矢本PA」出発
	6時00分	「石巻市総合運動公園」到着



「被災地は断水のため多くの飲料水を持参した」



「出発前、入念な調整を行う隊員」



「バスの後部席に置かれた資機材や隊員の荷物」

- 3月19日
- 7時00分 ブロック長のみ現場で第2次派遣隊と引き継ぎ
 - 9時00分 第2次派遣隊と交替
 - 12時00分 ブロック長会議
 - 12時30分 東播各消防本部へ活動内容の伝達
 - 13時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川」方面へ出発
 - 15時30分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川」方面到着
志津川右岸の検索活動を実施
 - 17時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川右岸」の検索活動を終了し引き揚げ
 - 18時00分 「南三陸町立歌津中学校（避難所）」に向け出発（救急隊）
 - 18時30分 「石巻市総合運動公園」到着
 - 21時00分 「南三陸町立歌津中学校（避難所）」到着 警備開始（救急隊）
 - 21時30分 ブロック長会議
 - 22時20分 ブロック長会議終了
 - 22時30分 東播ブロック連絡会議
 - 23時30分 東播ブロック連絡会議終了
- 20日
- 5時00分 活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
 - 8時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川」方面へ出発
 - 9時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川」方面到着 検索活動開始
 - 10時30分 南三陸町立歌津中学校で警備中の救急隊 警備終了引き揚げ
 - 13時00分 「石巻市総合運動公園」到着（救急隊）
 - 17時00分 「宮城県本吉郡南三陸町志津川」地区の検索活動を終了し引き揚げ
 - 18時30分 「石巻市総合運動公園」到着
 - 20時30分 ブロック長会議
 - 21時20分 ブロック長会議終了
 - 21時30分 東播ブロック連絡会議
 - 22時30分 東播ブロック連絡会議終了
- 21日
- 6時00分 活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
 - 9時00分 野営地移動に伴う撤収作業を開始
 - 9時30分 次の野営地（宮城県総合運動公園 宮城県宮城郡利府町）準備のため



		出発（支援隊）
	11時00分	野営地撤収作業完了
	13時15分	兵庫県隊、石巻市総合運動公園から、宮城県総合運動公園へ移動開始
	15時00分	宮城県総合運動公園 到着（野営地の設営開始）
	18時00分	野営地設営完了
	20時30分	ブロック長会議
	21時20分	ブロック長会議終了
	21時30分	東播ブロック連絡会議
	22時30分	東播ブロック連絡会議終了
22日	6時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時30分	宮城県塩竈市の災害対応に備え待機
	8時40分	他市消防車両修理のため整備工場まで同行（支援隊）
	10時30分	車両修理完了
	10時30分	ブロック長会議
	12時30分	「宮城県亘理郡山元町」へ活動現場調査のため出動（2名）
	17時45分	「宮城県亘理郡山元町」の活動現場調査終了し野営地に到着
	19時20分	東播ブロック連絡会議
	19時30分	救急中隊連絡会議
	20時00分	後方支援部隊連絡会議
	21時00分	ブロック長会議
	21時50分	ブロック長会議終了
	21時55分	東播ブロック連絡会議
	22時20分	東播ブロック連絡会議終了
23日	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	6時30分	第4次派遣隊と引き継ぎ
	7時30分	市内警備のため塩竈市消防本部へ移動（救急隊）
	9時07分	第4次派遣隊と交替
	12時45分	第3次派遣隊の解散式を行う
	13時10分	現場引き揚げ



「宮城県総合体育館（遺体安置所にも指定されていた）」



写真上 「体育館横の駐車場が野営地となった」

写真下 「野営地に隣接した防災ヘリコプターの発着場」



24日 5時50分 明石市消防本部へ帰隊



「検索活動」

活動について詳細な打ち合わせが行われた後、消防車両から離れ徒歩にて活動現場に向かう。

到着後、隊員は横一直線上に並び瓦礫を除去しながら行方不明者の検索を行いました



「隊員の装備」

瓦礫の中には、様々な物が含まれている。なかには毒物等危険物品の混入も考えられることから、隊員はマスク、感染防護衣、手袋等の防備が欠かせない。





「足場のない現場」（目をうたがうほどの瓦礫を前に、屋根の上で立ちつくす隊員たち）



隊員手記

助けを待つ人がいる
泣き暮れる家族のもとへと帰すため
一步一步 瓦礫を巡る

想像を絶する津波の爪あとに
無力感が身を襲う

瓦礫をどけて目にするのは

涙に汚れた微笑お写真
腕のとれたぬいぐるみ

写真を見ては
微笑お家族の安否を思い

ぬいぐるみを見ては
抱きしめていた子どもを思う

とり残された思い出の品に
心は奮え
また一步 また一步と瓦礫を巡る

助けを待つ人を家族のもとへ帰すため



第4次派遣隊

3月22日	8時30分	第4次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	9時10分	兵庫県広域防災センター到着
	10時20分	兵庫県広域防災センター出発
（以降、各派遣隊の目的地（活動拠点）までの行程は、 第2次、3次派遣隊とほぼ同じであるため省略する。）		
23日	6時30分	「宮城県総合運動公園」到着
	6時30分	第3次派遣隊と引き継ぎ
	9時00分	ブロック長会議
	9時30分	ブロック長会議終了
	10時00分	ブロック長会議内容伝達
	10時40分	ブロック長会議内容伝達終了
	11時00分	第4次派遣隊到着式
	12時00分	兵庫県隊救急隊会議
	12時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動（救助）
	12時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ火災対応のため出動（指揮）
	13時40分	「宮城県亶理郡山元町 山元町立山下中学校」到着、活動調整会議（救助）
	15時00分	「宮城県亶理郡山元町」検索活動開始
	15時55分	「宮城県亶理郡山元町」検索活動終了、引き揚げ
	18時05分	「宮城県総合運動公園」到着
	20時00分	ブロック長会議
	21時30分	東播ブロック連絡会議
	22時00分	明石市消防隊業務打ち合わせ
24日	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時00分	「宮城県亶理郡山元町 山元町立山下中学校」に向け出発



写真上「出動前には、必ず入念な打ち合わせが行われた」

写真下「瓦礫をかきわけ検索する隊員」



- 25日
- 8時15分 「宮城県亶理郡山元町 山元町立山下中学校」到着
任務分担後、検索活動現場へ移動
 - 9時00分 「宮城県亶理郡山元町坂元字和尚壇」方面の検索活動開始
 - 11時40分 「宮城県亶理郡山元町坂元字和尚壇」方面の検索活動を一時中断
 - 12時10分 検索活動再開
 - 14時40分 「宮城県亶理郡山元町坂元字和尚壇」検索活動を終了、山元町立山下中学校へ移動
 - 15時00分 山元町立山下中学校到着後、兵庫県隊活動報告を実施
 - 15時30分 「宮城県総合運動公園」へ移動開始
 - 17時00分 「宮城県総合運動公園」到着
 - 20時50分 ブロック長会議
 - 21時40分 東播ブロック連絡会議
 - 22時00分 明石市消防業務打ち合わせ
 - 22時30分 兵庫県隊救急担当者会議 開始
 - 23時00分 兵庫県隊救急担当者会議 終了
 - 5時00分 活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
 - 6時30分 検索現場「宮城県亶理郡山元町坂元字沼尻」方面へ調査のため出動（救助）
 - 7時30分 「宮城県亶理郡山元町 山元町立山下中学校」に向け出発（指揮・消防）
 - 8時00分 「亶理地区行政事務組合亶理消防本部亶理消防署山元分署」に向け出発（救急）
（24時間体制で救急対応を行うため）
 - 8時50分 「宮城県亶理郡山元町 山元町立山下中学校」に到着（指揮・消防）
 - 9時30分 「亶理地区行政事務組合亶理消防本部亶理消防署山元分署」到着、前救急隊と引き継ぎ実施
 - 9時40分 検索現場「宮城県亶理郡山元町坂元字沼尻」方面の調査終了
 - 10時00分 「亶理地区行政事務組合亶理消防本部亶理消防署山元分署」にて警備開始（救急）
 - 10時30分 検索現場「宮城県亶理郡山元町坂元字沼尻」方面に向け出発（救助）
 - 10時43分 救急出動「亶理郡山元町高瀬」国立宮城病院へ搬送
 - 10時50分 「宮城県亶理郡山元町坂元字沼尻」方面で検索活動を実施
 - 12時45分 検索活動地の変更指示により移動開始する。
（「宮城県亶理郡山元町坂元字下田」方面）
 - 13時00分 被災地パトロールに出動（救急）



「水深が深いところでの検索に備え隊員は、救命胴衣を着用し検索にあたった」

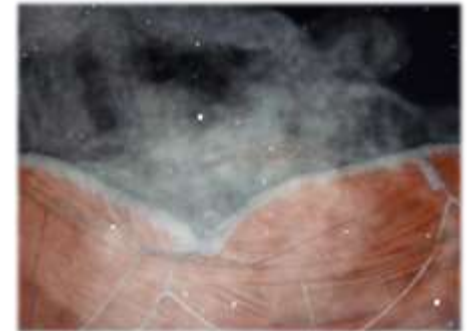


「活動の拠点となった山元分署」（敷地内のひび割れも多数残っていた）



「災害支援車の中で行われる会議」

	13時10分	「宮城県亶理郡山元町坂元字下田」に到着、検索活動開始
	14時30分	被災地パトロール終了（救急隊）
	15時30分	「宮城県亶理郡山元町坂元字下田」地区の検索活動終了、山元町立山下中学校へ引き揚げ
	15時50分	山元町立山下中学校に到着、その後「宮城県総合運動公園」へ引き揚げ
	17時40分	「宮城県総合運動公園（野営地）」到着
	20時30分	ブロック長会議
	20時47分	救急出動「亶理郡山元町坂元」相馬中央病院へ搬送
	21時00分	東播ブロック会議
	21時30分	明石市消防業務打ち合わせ
	22時30分	救助担当者会議
	23時10分	救助担当者会議終了
26日	0時30分	降雪により宿泊テントに異常が発生、テント再設営
	1時10分	テント再設営完了
	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等） 更なる降雪により宿泊テントを再設営
	6時00分	ブロック長会議 （積雪により出発時間を1時間延長）
	8時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元地区」に向け出発
	9時28分	救急出動「亶理郡山元町真庭」国立宮城病院へ搬送
	9時45分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区に到着
	10時10分	「宮城県亶理郡山元町坂元字下田」方面へ移動
	10時30分	「宮城県亶理郡山元町坂元字下田」地区を兵庫県隊全員で検索
	10時30分	救急隊警備交替
	11時50分	「宮城県亶理郡山元町坂元字下田」地区の検索活動を一時中断
	12時00分	「宮城県総合運動公園」到着（救急隊）
	12時20分	「宮城県亶理郡山元町坂元字下田」地区の検索活動を再開
	12時45分	検索活動実施のため「宮城県亶理郡山元町坂元」の検索現場へ向かう（救急）
	14時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元」検索現場到着、検索活動開始（救急）
	14時30分	救急隊搜索活動を中止し、検索隊員を車両駐車位置まで送り込みを行う



「雪の重みでつぶれていくテント」



「自衛隊との共同作業」消防機関の切断器具を使用して切断、その後自衛隊の重機で瓦礫を除去する活動が続けられた



- 15時30分 「宮城県亘理郡山元町坂元」の検索活動終了、「宮城県総合運動公園」へ引き揚げ
- 17時00分 「宮城県総合運動公園」到着
- 20時30分 ブロック長会議
- 21時00分 東播ブロック会議
- 21時30分 明石市消防業務打ち合わせ
- 27日 6時00分 活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
- 9時00分 第5次派遣隊と引き継ぎ
- 11時30分 ブロック長会議
- 12時30分 第4次派遣隊解散式
- 12時40分 現場引き揚げ
- 28日 6時55分 明石市消防本部へ帰隊



隊員手記

わたしは 第4次派遣隊として 東北地方に派遣され
現地に着くとすぐ 検索活動にとりかかることができました
目の前に広がる景色は 水と瓦礫の山でした
そこに町があったとは 信じられないものであり
また そこに今もお 多数の行方不明者がいるという現実
に 衝撃を受けました

現地の消防職員は 家族や家が流されたにも関わらず
休むことなく活動していました
わたしは とにかくひとりでも多くの行方不明者を発見救出し
家族に再会させたいという一心で 活動しました

現場には多くの写真がありました
家族写真や日常の生活・結婚式・出産・入学・卒業・・・
涙をこらえながらの検索
必死になって捜しましたが
結局 ひとりも捜しだすことができませんでした

自分の無力さを痛感しました・・・

家族や遺留品をさがす 現地の方々から
何度も感謝の言葉をいただきましたが
その度に何もできない悔しさが あふれました

この度の派遣では 被災地の方々のお役に立つことが
何もできませんでしたが
この経験を無駄にせず
今後の災害対応に 活かしていきたいと思った



第5次派遣隊

3月26日	8時30分	第5次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	9時10分	兵庫県広域防災センター到着
	10時30分	兵庫県広域防災センター出発
27日	7時40分	「宮城県総合運動公園」到着
	9時00分	第4次派遣隊と引き継ぎ実施 （各ブロック長「宮城県亶理郡山元町」へ現場調査のため出動）
	12時30分	ブロック長会議
	13時30分	「宮城県亶理郡山元町」へ活動現場調査のため出動
	17時00分	「宮城県総合運動公園」到着
	21時00分	ブロック長会議
	21時35分	ブロック長会議終了
	21時40分	東播ブロック会議
28日	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時15分	「宮城県亶理郡山元町」へ検索活動のため出発
	7時15分	「亶理地区行政事務組合亶理消防本部亶理消防署山元分署」へ警備のため出発（救急）
	9時30分	「宮城県亶理郡山元町」地区到着
	9時30分	「亶理地区行政事務組合亶理消防本部亶理消防署山元分署」到着（救急）
	9時40分	「宮城県亶理郡山元町」地区 検索活動開始
	11時50分	「JX日鉱日石エネルギー仙台製油所」へ調査のため出動（指揮・消防） （宮城県仙台市宮城野区港5丁目1番1号）
	13時00分	「JX日鉱日石エネルギー仙台製油所」到着
	14時00分	「JX日鉱日石エネルギー仙台製油所」の対応について 仙台、塩竈、新潟、神戸、明石消防と自衛消防隊で協議
	16時30分	「JX日鉱日石エネルギー仙台製油所」における活動方針決定後、野営地へ 引き揚げ
	17時10分	「宮城県総合運動公園」到着



「精油所の火災を想定して何度も調整が行われた」

	2 1 時 0 0 分	ブロック長会議
	2 1 時 4 0 分	ブロック長会議終了
	2 1 時 4 5 分	東播ブロック連絡会議
2 9 日	5 時 0 0 分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7 時 1 5 分	「宮城県亶理郡山元町」地区に向け出発
	9 時 3 0 分	「宮城県亶理郡山元町坂元地区」の検索活動開始
	1 1 時 0 0 分	午後の検索活動エリアの調査を実施（指揮）
	1 2 時 0 0 分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動一時中断
	1 3 時 0 0 分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動再開
	1 4 時 1 0 分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動を終了、 「宮城県亶理郡山元町磯浜」地区へ到着後検索活動開始
	1 6 時 0 0 分	「宮城県亶理郡山元町磯浜」地区の検索活動終了、引き揚げ
	1 7 時 0 0 分	「宮城県総合運動公園」到着
	2 1 時 0 0 分	ブロック長会議
	2 1 時 3 0 分	ブロック長会議終了
	2 1 時 4 0 分	東播ブロック連絡会議
	2 2 時 1 5 分	東播ブロック連絡会議終了
3 0 日	5 時 0 0 分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7 時 1 5 分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区へ検索活動のため出発
	9 時 0 5 分	検索活動開始
	1 2 時 0 0 分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動一時中断
	1 3 時 0 0 分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動再開
	1 5 時 3 0 分	検索計画エリアの検索完了
	1 5 時 4 0 分	「宮城県総合運動公園」へ引き揚げ
	1 7 時 0 0 分	「宮城県総合運動公園」到着
	2 1 時 0 0 分	ブロック長会議
	2 1 時 4 0 分	ブロック長会議終了
	2 1 時 4 5 分	東播ブロック連絡会議
	2 2 時 1 5 分	東播ブロック連絡会議終了



「派遣期間中に車両、資機材の故障が多発。
出動前、後の点検は念入りに行われた」

31日 5時00分 活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
11時30分 第5次派遣隊解散式
11時50分 現場引き揚げ
4月 1日 6時30分 明石市消防本部へ帰隊

隊員手記

被災地に入り
現地の消防職員と共に
活動しました

流されて来た家
陸地にうち上げられた いくつもの船

見るものすべてが
わたしの想像を超えていきました

それより
わたしの 想像をはるかに
超えさせたのは
涙として
今
消防活動を続けている
あなたの家族も
亡くなっている ということです





第6次派遣隊

3月30日	10時30分	第6次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	11時15分	兵庫県広域防災センター到着
	12時15分	兵庫県広域防災センター出発
31日	6時30分	「宮城県総合運動公園」到着
	9時00分	ブロック長会議
	9時30分	東播ブロック連絡会議
	10時00分	明石市消防業務打ち合わせ
	11時00分	「宮城県亙理郡山元町」方面へ検索活動のため出動（救助）
	13時00分	塩竈地区石油コンビナート施設へ現場視察（消防）
	14時00分	塩竈地区石油コンビナート施設視察後、神戸・新潟消防と調整会議
	14時30分	「宮城県亙理郡山元町」方面検索活動開始（救助）
	15時00分	塩竈地区石油コンビナート施設から引き揚げ（消防）
	15時30分	「宮城県総合運動公園」到着（消防）
	17時00分	「宮城県亙理郡山元町」方面の検索活動終了、引き揚げ（救助）
	18時30分	「宮城県総合運動公園」到着（救助）
	21時00分	ブロック長会議
	22時00分	東播ブロック連絡会議
	22時30分	明石市消防業務打ち合わせ
4月 1日	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時30分	「宮城県亙理郡山元町」方面へ検索活動のため出動
	8時23分	出動途上に黒煙見分、現場確認に向かう（指揮）
	10時00分	「宮城県亙理郡山元町」方面の検索活動開始
	12時45分	「宮城県亙理郡山元町」方面の検索活動一時中断
	14時00分	「宮城県亙理郡山元町」方面の検索活動再開
	15時50分	「宮城県亙理郡山元町」方面の検索活動終了、 山元町立山下中学校へ引き揚げ



「兵庫県広域防災センターに集結した隊員」



写真上、下

「検索漏れを防ぐため隊員は、横一列に広がり、検索を進めた」



	17時40分	「宮城県総合運動公園」到着
	21時00分	ブロック長会議
	22時00分	東播ブロック連絡会議
	22時30分	明石消防業務打ち合わせ
2日	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動
	9時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面検索活動開始（指揮） 救助隊は、活動現場踏査
	10時25分	検索活動開始
	12時20分	検索活動一時中断
	14時00分	検索活動再開
	16時40分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動終了し引き揚げ
	18時10分	「宮城県総合運動公園」到着
	21時00分	ブロック長会議
	22時00分	東播ブロック連絡会議
	22時30分	明石消防業務打ち合わせ
3日	4時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動
	9時20分	「宮城県亶理郡山元町」方面到着、検索活動開始
	12時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動一時中断
	13時15分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を再開
	17時25分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動終了、 山元町立山下中学校を引き揚げ
	18時50分	「宮城県総合運動公園」到着
	20時30分	ブロック長会議
	22時00分	東播ブロック連絡会議
	22時30分	明石消防業務打ち合わせ
4日	5時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時00分	第7次派遣隊へ引き継ぎ



「全ての隊員が救命胴衣を着用しての活動となった。ぬかるみに足をとられ活動が制限された」



- 9時00分 ブロック長会議
- 9時30分 東播ブロック連絡会議
- 10時00分 明石消防業務打ち合わせ
- 12時00分 第6次派遣隊解散式
- 12時10分 現場引き揚げ
- 5日 6時40分 明石市消防本部へ帰隊

隊員手記

「ひとりでも多くの命を助けたい・・・」
そんな使命感を胸に
被災地へ向かいました

しかしそこには
わたしの想像をはるかに超えた
凄惨な現場がありました

痛いほど
わたしの胸に刻みこみました

「自然災害の恐ろしさ」
「巨大な水のカ」
「現場をまえに 何もできない無力感」

それでも・・・
それでも・・・

「わたしは 災害に負けたくない」





第7次派遣隊

4月	3日	10時00分	第7次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
		10時30分	兵庫県広域防災センター到着
		12時20分	兵庫県広域防災センター出発
	4日	6時45分	「宮城県総合運動公園」到着
		7時00分	第6次派遣隊から引き継ぎ開始
		8時55分	第6次派遣隊からの引き継ぎ終了 救助工作車修理のため出動（救助）
		9時30分	ブロック長会議
		10時30分	ブロック長会議終了 救助工作車修理依頼完了 東播ブロック連絡会議
		11時00分	東播ブロック連絡会議終了
		13時00分	石油コンビナート視察のため出動（指揮）
		13時00分	「宮城県亘理郡山元町山寺山下」地区へ検索活動のため出動
		17時00分	「宮城県亘理郡山元町山寺山下」地区の検索活動終了 引き揚げ （救助隊は、修理依頼中の救助工作車引き取りのため出動）
		17時35分	「宮城県総合運動公園」到着
		18時20分	「宮城県総合運動公園」到着（救助）
		20時30分	ブロック長会議
		21時45分	ブロック長会議終了 東播ブロック連絡会議
		22時15分	東播ブロック連絡会議終了
	5日	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
		8時15分	「宮城県亘理郡山元町山寺山下」地区へ検索活動のため出動
		13時00分	次期、野営地移転先の調査のため出動（後方支援）
		16時00分	次期、野営地移転先の調査終了し「宮城県総合運動公園」へ到着（後方支援）

- 
- 1 7時30分 検索活動終了し、「宮城県総合運動公園」に到着
救助工作車修理のため出動（救助）
- 1 8時50分 救助工作車修理完了し、「宮城県総合運動公園」に到着
- 2 0時30分 ブロック長会議
- 2 1時35分 ブロック長会議終了
- 2 2時15分 東播ブロック連絡会議
- 2 2時45分 東播ブロック連絡会議終了
- 6日 5時30分 活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
- 7時25分 「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動（救助）
- 7時40分 ブロック長会議（指揮）
- 8時00分 ブロック長会議終了
「宮城県亶理郡山元町山下地区方面」へ検索活動のため出動（指揮）
- 9時30分 次期、野営地へ資機材、荷物等の搬入開始（後方支援）
（宮城県亶理郡山元町山寺）
- 1 3時00分 次期、野営地へ資機材、荷物等の搬入完了
「宮城県総合運動公園」に到着（後方支援）
- 1 7時30分 「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動終了、
宮城県総合運動公園に到着
- 2 0時45分 ブロック長会議
- 2 1時35分 ブロック長会議終了
東播ブロック連絡会議
- 2 2時15分 東播ブロック連絡会議終了
- 2 2時15分 東播・西播地区連絡会議
- 2 3時15分 東播・西播地区連絡会議終了
- 7日 5時30分 活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
- 8時00分 「宮城県亶理郡山元町山寺山下地区」に検索活動のため出動（指揮）
（貨物列車横転事故現場）
「宮城県亶理郡山元町山寺山下」地区に検索活動のため出動（救助）
- 9時50分 次期、野営地へ資機材、荷物等を搬入のため出動（後方支援）

	12時30分	次期、野営地へ資機材、荷物等の搬入完了 「宮城県総合運動公園」に到着（後方支援）
	17時30分	「宮城県亘理郡山元町」方面の検索活動を終了、 宮城県総合運動公園へ到着
	20時30分	ブロック長会議
	21時20分	ブロック長会議終了
	21時30分	東播ブロック連絡会議
	22時10分	東播ブロック連絡会議終了
	23時32分	宮城県で震度6強の地震が発生、野営地内に兵庫県隊対策本部を設置、 情報収集活動、災害発生に備え各隊が待機
8日	0時34分	情報収集活動のため、塩釜地区消防事務組合消防本部、利府消防署へ 出動（宮城県宮城郡利府町字堀切前11-1）
	1時45分	利府消防署管内の情報収集活動終了、 引き続き塩釜地区消防事務組合消防本部へ情報収集活動のため出動
	3時15分	塩釜地区消防事務組合消防本部への情報収集活動を終了し、 兵庫県隊対策本部に到着
	4時30分	兵庫県隊対策本部が縮小、一部隊員を残し仮眠
	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時00分	野営地撤収作業開始（野営地移動のため）
	9時00分	野営地撤収作業終了
	9時30分	ブロック長会議
	9時50分	ブロック長会議終了 東播ブロック連絡会議
	10時00分	東播ブロック連絡会議終了
	10時10分	「宮城県総合運動公園」出発
	11時40分	新野営地「山元町立山下小学校」に到着 第8次派遣隊とともに野営地設営、引き継ぎ（現場確認）、 撤収作業を開始
	14時00分	第7次派遣隊解散式



写真上 「震度6強の地震発生直後の様子」
写真下 （急遽、対策本部が立ち上げられた）



14時15分 巨理地区行政事務組合巨理消防署山元分署を出発（現場引き揚げ）
9日 6時35分 明石市消防本部へ帰隊

写真 「消防・警察・自衛隊3機関による検索活動」





隊員手記

日々 テレビに映し出される 被災地の映像
「いったいじぶんはここで 何ができるのか？」
そんな不安を抱いていた

地震発生からもうすぐ
一か月をむかえようとする日
わたしは 消火中隊隊員として
被災地へ派遣された

明け方 わたしたちを乗せたバスは
被災地の近くに到着した
うす暗いバスの中で わたしは
「自分に与えられた任務を確実にやっ行ってこう」と
バスを降りました

被災地では
火災警戒活動や行方不明者の検索活動などに従事
したが そのあまりに甚大な被害を前に
「わたしのこんな小さな活動が 本当に役立っているのか？」
無力感を感じながらの 活動は続いた

ある現場で
自衛隊や警察と共同で活動をした

その結果した力は
やがて大きな力となり
不可能と思われた
倒れた電車を動かし
押しつぶされた建物を開放していった



第8次派遣隊

4月 7日	10時27分	第8次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	11時06分	兵庫県広域防災センター到着
	12時27分	兵庫県広域防災センター出発
8日	9時53分	「宮城県総合運動公園」到着
	10時18分	新野営地「山元町立山下小学校」に向け出発
	11時50分	新野営地「山元町立山下小学校」到着（到着順に野営地等準備開始）
	12時25分	第7次派遣隊から各種引き継ぎ
	14時00分	ブロック長会議
	15時10分	ブロック長会議終了
	15時30分	第8次隊集結式
	15時45分	列車解体、検索現場の調査のため出動（指揮） （宮城県亶理郡山元町山寺・高瀬地区）
	17時00分	列車解体、検索現場の調査終了し野営地へ到着
	18時00分	災害対策会議（大隊長）
	19時00分	災害対策会議終了
	20時00分	ブロック長会議
	21時15分	ブロック長会議終了
	21時30分	東播ブロック連絡会議
	22時15分	東播ブロック連絡会議終了
9日	6時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	8時55分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区へ検索活動のため出動
	9時10分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区到着、現場活動調整実施
	9時30分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動開始
	11時45分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動一時中断
	11時58分	検索活動報告後、「山元町立山下小学校」へ引き揚げ
	12時20分	「山元町立山下小学校」到着



写真「山下小学校に到着した兵庫県隊」



写真上下「列車解体現場」



	13時45分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区へ検索活動のため出動
	14時15分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区到着
	14時20分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動開始
	16時00分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動終了
	16時15分	その他災害出動（危険物品検索）
		出動場所「宮城県亶理郡山元町山寺川東畑合」地区
	16時21分	「宮城県亶理郡山元町山寺川東畑合」地区到着
	16時48分	「宮城県亶理郡山元町山寺川東畑合」地区の検索活動開始
	16時57分	対象物品（クロルピクリン）発見
	17時38分	その他災害出動処理完了
	17時44分	現場引き揚げ
	18時00分	「山元町立山下小学校」到着
	19時30分	ブロック長会議
	20時40分	ブロック長会議終了
	20時45分	東播ブロック連絡会議
	21時30分	東播ブロック連絡会議終了
10日	8時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	8時30分	「宮城県亶理郡山元町高瀬地区用水路」へ検索活動のため出動
	8時50分	「宮城県亶理郡山元町高瀬地区用水路」到着、検索活動開始
	11時30分	「宮城県亶理郡山元町高瀬地区用水路」の検索活動一時中断 「山元分署」へ向かう
	13時20分	「山元分署」から「宮城県亶理郡山元町高瀬地区用水路」へ検索活動のため出動
	13時35分	「宮城県亶理郡山元町高瀬地区用水路」到着
	13時45分	「宮城県亶理郡山元町高瀬地区用水路」の検索活動開始
	16時10分	「宮城県亶理郡山元町高瀬地区用水路」の検索活動終了、引き揚げ
	16時30分	「山元町立山下小学校」到着
	17時45分	災害対策会議
	18時45分	災害対策会議終了



「発見された危険物品」



写真上下「倒壊した建物の中を検索する隊員」



	19時30分	ブロック長会議
	20時40分	ブロック長会議終了
	20時45分	東播ブロック連絡会議
	21時30分	東播ブロック連絡会議終了
11日	6時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	8時20分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区へ検索活動のため出動
	8時45分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区到着
	9時50分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動開始
	11時30分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動一時中断
	11時40分	検索現場から引き揚げ
	11時50分	「山元町立山下小学校」到着
	13時30分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区へ検索活動のため出動
	13時40分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区到着
	13時50分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動開始
	15時50分	「宮城県亶理郡山元町高瀬」地区の検索活動終了
	16時00分	検索現場から引き揚げ
	16時15分	「山元町立山下小学校」到着
	17時16分	宮城県で震度4の地震が発生、各隊が出動待機
	18時00分	災害対策会議
	18時45分	災害対策会議終了
	19時30分	ブロック長会議
	20時30分	ブロック長会議終了
	20時45分	東播ブロック連絡会議
	21時45分	東播ブロック連絡会議終了
12日	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時00分	第9次派遣隊へ引き継ぎ開始
	8時00分	「宮城県亶理郡山元町高瀬・山寺地区」で第9次派遣隊へ現場引き継ぎを実施するため出動
	8時30分	第9次派遣隊への現場引き継ぎ終了、



写真「活動地に向かう隊員」



写真上下「泥濘に落ち動けなくなる消防車」
被災地は、地盤面がゆるみ消防車がスタックする場面が多くみられた



「山元町立山下小学校」到着
11時00分 第9次派遣隊との引き継ぎ終了
11時10分 第8次隊解散式
11時35分 巨理地区行政事務組合巨理消防署山元分署を出発（現場引き揚げ）
13日 6時50分 明石市消防本部へ帰隊

隊員手記

震災直後 あらゆるメディアから
被災地の状況が報じられた
それは 毎日世界のどこかで
起っている戦争のように…

被災地に入った
映像で見た光景が
目の前に広がっていた

しかし 何かがちがった
押し流された家屋に残る生活の跡
あらゆるものを包み込む空気…
映像だけでは 見えなかった
決して逃げることもできない
現実が そこにあった
この人たちの笑顔の奥にある
悲しみや不安は
とてつもなく大きく

ここにも決して
逃げることもできない
現実があった





第9次派遣隊

11日	10時27分	第9次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	11時05分	兵庫県広域防災センター到着
	12時28分	兵庫県広域防災センター出発
12日	6時45分	「巨理地区行政事務組合巨理消防署山元分署」到着
	7時10分	第8次派遣隊と引き継ぎ実施
	10時50分	ブロック長会議
	11時00分	第8次派遣隊と引き継ぎ終了
	11時45分	ブロック長会議終了
	13時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区へ検索活動のため出動
	13時40分	後方支援隊会議
	16時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動を終了
	16時21分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区から引き揚げ
	16時34分	「巨理地区行政事務組合巨理消防署山元分署」到着
	20時00分	ブロック長会議
	20時35分	ブロック長会議終了
13日	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	8時30分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区へ検索活動のため出動
	11時50分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動を一時中断、引き揚げ
	12時15分	「巨理地区行政事務組合巨理消防署山元分署」到着
	13時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区へ検索活動のため出動
	16時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動終了、引き揚げ
	16時10分	「巨理地区行政事務組合巨理消防署山元分署」到着
	20時00分	ブロック長会議
	20時35分	ブロック長会議終了
14日	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	8時30分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区へ検索活動のため出動



写真「山元分署で警備する兵庫県隊」



写真上下「行方不明者の検索を行う隊員」



	12時05分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動を一時中断、引き揚げ
	12時15分	「亶理地区行政事務組合亶理消防署山元分署」到着
	13時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区へ検索活動のため出動
	17時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元」地区の検索活動終了、引き揚げ
	17時20分	「亶理地区行政事務組合亶理消防署山元分署」到着
	20時00分	ブロック長会議
	21時00分	ブロック長会議終了
15日	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	8時30分	「宮城県亶理郡山元町坂元浜谷地」へ検索活動のため出動
	8時30分	次期、野営地へ資機材、荷物等の搬入開始（後方支援）
	12時10分	「宮城県亶理郡山元町坂元浜谷地」の検索活動を一時中断、引き揚げ
	12時20分	「亶理地区行政事務組合亶理消防署山元分署」到着
	13時30分	次期、野営地へ資機材、荷物等の搬入開始（後方支援）
	14時00分	「宮城県亶理郡山元町坂元浜谷地」へ検索活動のため出動
	16時55分	「宮城県亶理郡山元町坂元浜谷地」の検索活動終了、引き揚げ
	17時20分	「亶理地区行政事務組合亶理消防署山元分署」到着
	20時00分	ブロック長会議
	20時45分	ブロック長会議終了
16日	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
		野営地移動準備
	9時00分	次期、野営地「角田市総合体育館」へ移動のため出発 （宮城県角田市）
	9時30分	「角田市総合体育館」到着
	10時00分	第10次派遣隊と引き継ぎ
	11時30分	第9次派遣隊 解散式
	12時30分	現場引き揚げ
17日	6時33分	明石市消防本部へ帰隊



写真上「一部のガソリンスタンドでの給油が可能になった」

写真下「見渡す限り建物がなくなった土地を一列に並び検索活動が続けられた」



隊員手記

「なにもない」それが被災地の第一印象でした
わたしたちに与えられた任務は
不明者の検索

瓦礫の山を特別な資機材は使わず
ただひらすら手探りで歩いた
道端には つい先日まで幸せな暮らしが
ここにあったと思わせる品が
放置されている
絶望的な状況だった

活動日数は四日間
結局 わたしたちの隊は
不明者の発見には 至らなかった

わたしも家に帰れば
子を持つ親である
被災地の子どもに鉛玉の一つでもと思い
持参したが それすら手渡せなかった

出発時 「被災者のために」と胸に秘めた思いは
全て罪悪感に変わっていた
同僚の顔を見ると 同じ気持ちであることは
話さずとも十分に理解できた

「一体 俺たちは何をしに来たのだ？」

精神的に追い詰められた帰路
道端に家族が並んでいるのが見えた
わたしたちを見送ってくれている・・・
頭を下げなければいけないのは
わたしたちの方だ
涙が止まらなかった・・・
助けに行ったはずが
帰ったあと 皆が口を揃えてこう言った

「あの人たちに助けられた」と・・・
満足感も達成感もない
しかし 今回を機に仲間との絆
そして助けを待つ人たちへの思いは
深くなった

忘れないでおこう・・・
絶望的な状況でも
感謝の気持ちを持つ人たちがいたことを

忘れないでおこう・・・
助けられて初めて分かった
「助ける」という意味を

今 わたしの中にあるのは
罪悪感ではなく
もう一度 消防職員として
災害に立ち向かう使命感だ

忘れないでおこう・・・
幸せを守るのが
「消防の使命」であることを



第10次派遣隊

4月	15日	10時30分	第10次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
		11時10分	兵庫県広域防災センター到着
		12時00分	兵庫県広域防災センター出発
	16日	10時00分	「角田市総合体育館」到着 第9次派遣隊と引き継ぎ
		11時30分	ブロック長会議
		12時30分	ブロック長会議終了
		12時30分	東播ブロック連絡会議
		13時00分	東播ブロック連絡会議終了
		13時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ 現場視察のため出動
		14時00分	後方支援隊調整会議
		14時30分	後方支援隊調整会議終了
		17時30分	災害対策本部会議（山元町役場）に参加
		20時00分	ブロック長会議
		21時00分	ブロック長会議終了 東播ブロック連絡会議
		22時00分	東播ブロック連絡会議終了
	17日	6時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
		7時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動
		9時05分	「宮城県亶理郡山元町」方面到着、検索活動開始
		12時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を一時中断
		13時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を再開
		18時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を終了し引き揚げ
		20時30分	ブロック長会議
		21時30分	ブロック長会議終了



写真 「宿泊した角田市総合体育館」

玄関に貼られた「兵庫県隊 ご協力ありがとうございます」の文字に励まされた



		東播ブロック連絡会議
	2 2時30分	東播ブロック連絡会議終了
	6 時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7 時45分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動
	8 時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面到着、検索活動開始
	1 2時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を一時中断
	1 3時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を再開
	1 7時40分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を終了
	2 0時30分	ブロック長会議
	2 1時30分	ブロック長会議終了
		東播ブロック連絡会議
	2 2時30分	東播ブロック連絡会議終了
1 8 日	6 時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7 時45分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動
	8 時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面到着、検索活動を開始
	1 2時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を一時中断
	1 3時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を再開
	1 7時40分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を終了
	2 0時30分	ブロック長会議
	2 1時30分	ブロック長会議終了
		東播ブロック連絡会議
	2 2時30分	東播ブロック連絡会議終了
1 9 日	6 時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7 時45分	「宮城県亶理郡山元町」方面へ検索活動のため出動
	8 時30分	「宮城県亶理郡山元町」方面到着、検索活動を開始
	1 5時00分	「宮城県亶理郡山元町」方面の検索活動を終了
	2 0時30分	ブロック長会議
	2 1時30分	ブロック長会議終了
		東播ブロック連絡会議

写真 「隊員の検索状況」



	22時30分	東播ブロック連絡会議終了
20日	5時30分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時00分	第11次派遣隊と引き継ぎ
	11時00分	第10次派遣隊 解散式
	11時30分	現場引き揚げ
21日	6時45分	明石市消防本部へ帰隊

隊員手記

地震から1カ月ほど経ったころ
 第10次派遣隊として
 被災地へ降り立つ
 記事やニュースで見たはずの光景だが
 実際に目の前にすると
 言葉を失った

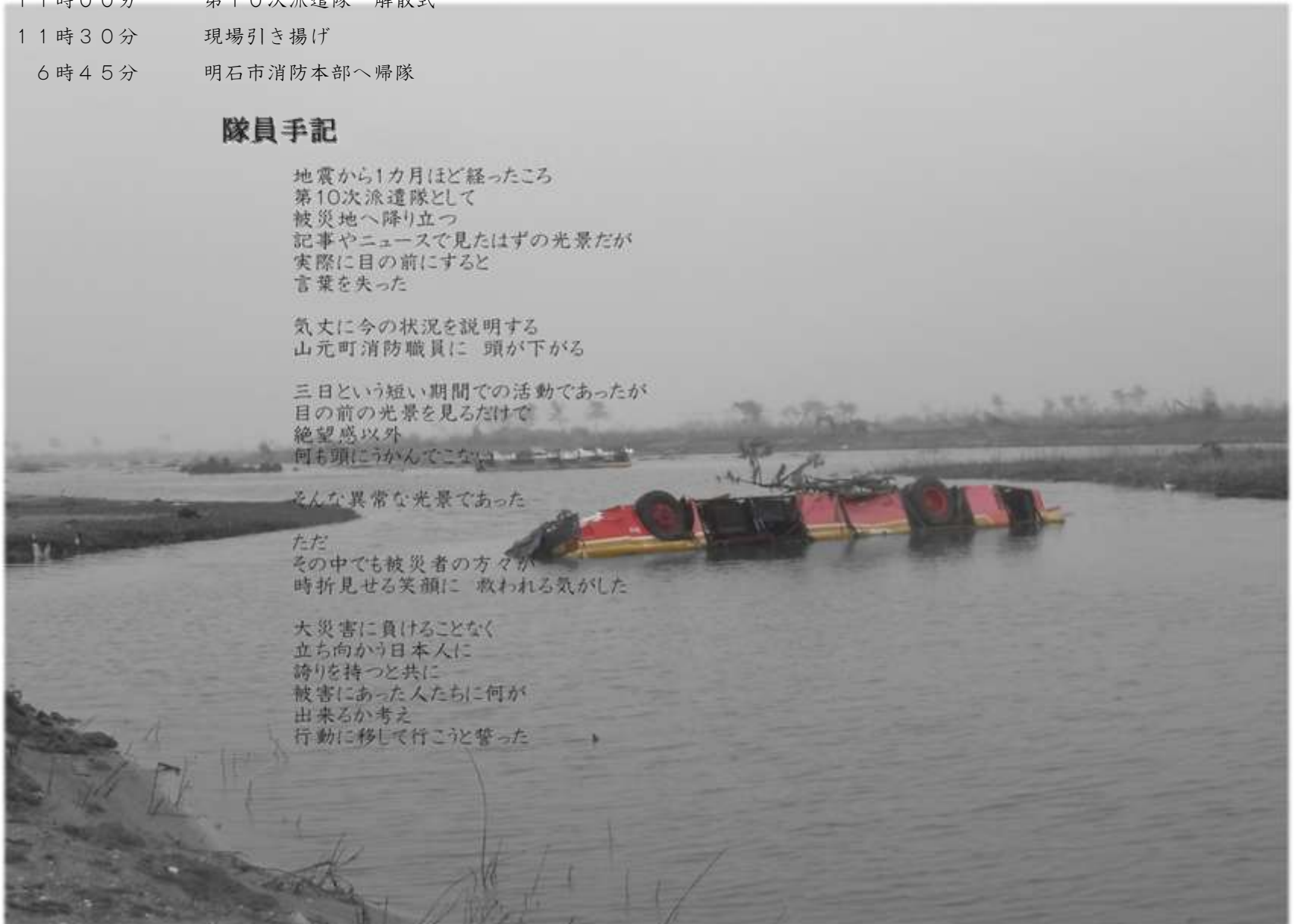
気丈に今の状況を説明する
 山元町消防職員に 頭が下がる

三日という短い期間での活動であったが
 目の前の光景を見るだけで
 絶望感以外
 何も頭にうかんでこない

そんな異常な光景であった

ただ
 その中でも被災者の方々が
 時折見せる笑顔に 救われる気がした

大災害に負けることなく
 立ち向かう日本人に
 誇りを持つと共に
 被害にあった人たちに何が
 出来るか考え
 行動に移して行こうと誓った





第11次派遣隊

4月19日	10時30分	第10次派遣隊 明石市消防本部から 兵庫県広域防災センター（三木市）に向け出発
	11時30分	兵庫県広域防災センター到着
	12時20分	兵庫県広域防災センター出発
20日	6時00分	「角田市総合体育館」到着 (到着後、第10次派遣隊と引き継ぎ)
	10時00分	「巨理地区行政事務組合巨理消防署山元分署」へ 事務連絡のため出動
	11時30分	ブロック長会議
	12時00分	ブロック長会議終了 東播ブロック連絡会議
	13時00分	「宮城県亶理郡山元町」へ検索活動のため出動
	13時30分	「宮城県亶理郡山元町」到着、検索活動開始
	16時00分	「宮城県亶理郡山元町」検索活動終了、引き揚げ
	16時30分	「角田市総合体育館」到着
	20時00分	ブロック長会議
	20時30分	ブロック長会議終了 東播ブロック連絡会議
	21時00分	東播ブロック連絡会議終了
21日	6時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時30分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区へ検索活動のため出動
	8時00分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区到着、検索活動開始
	11時30分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区の検索活動を一時中断
	12時00分	「角田市総合体育館」到着
	13時00分	ブロック長会議
	13時30分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区へ検索活動のため出動
	14時00分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区到着、検索活動開始

写真 「川の中を検索する隊員」



	17時00分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区の検索活動終了、引き揚げ
	17時30分	「角田市総合体育館」到着
	20時00分	ブロック長会議
	20時30分	ブロック長会議終了 東播ブロック連絡会議
	21時00分	東播ブロック連絡会議終了
22日	6時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時30分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区へ検索出動のため出動
	8時00分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区到着、検索活動開始
	11時30分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区の検索活動終了、引き揚げ
	12時00分	「角田市総合体育館」到着
	12時30分	「亶理地区行政事務組合亶理消防署山元分署」へ業務連絡のため出動（後方支援）
	13時00分	東播ブロック連絡会議
	13時30分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区へ検索出動のため出動
	14時00分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区到着、検索活動開始
	16時30分	「宮城県亶理郡山元町山寺」地区の検索活動終了、引き揚げ
	17時30分	「角田市総合体育館」到着
	18時30分	資機材点検と撤収準備
	20時00分	ブロック長会議
	20時30分	ブロック長会議終了 東播ブロック連絡会議
23日	6時00分	活動準備（車両・資機材整備、活動調整等）
	7時30分	資機材撤収
	11時00分	兵庫県隊解散式
	11時30分	現場引き揚げ
	12時40分	東北自動車道「国見SA」到着
	13時00分	東北自動車道「国見SA」出発
	14時10分	磐越自動車道「磐梯山SA」到着



写真「被災地での解散式」（山元町長からのあいさつ）

	14時30分	磐越自動車道「磐梯山SA」出発
	16時30分	北陸自動車道「米山SA」到着
	16時50分	北陸自動車道「米山SA」出発
	18時50分	北陸自動車道「小矢部川SA」到着
	20時00分	北陸自動車道「小矢部川SA」出発
	22時10分	名神高速道路「多賀SA」到着
	23時50分	名神高速道路「多賀SA」出発
24日	1時20分	山陽自動車道「淡河PA」到着
	4時50分	山陽自動車道「淡河PA」出発
	5時50分	明石市消防本部へ帰隊



写真「明石市消防本部で行われた解散式」



写真 「川の中を検索する隊員」



写真 「地震から日没まで津波を確認した男」

地震発生から日没まで津波を見ていた人が書いたと思われる看板。潮止ブロックが壊され「家」「車」「木」が津波に流されていく時の様子がリアルに描かれている。

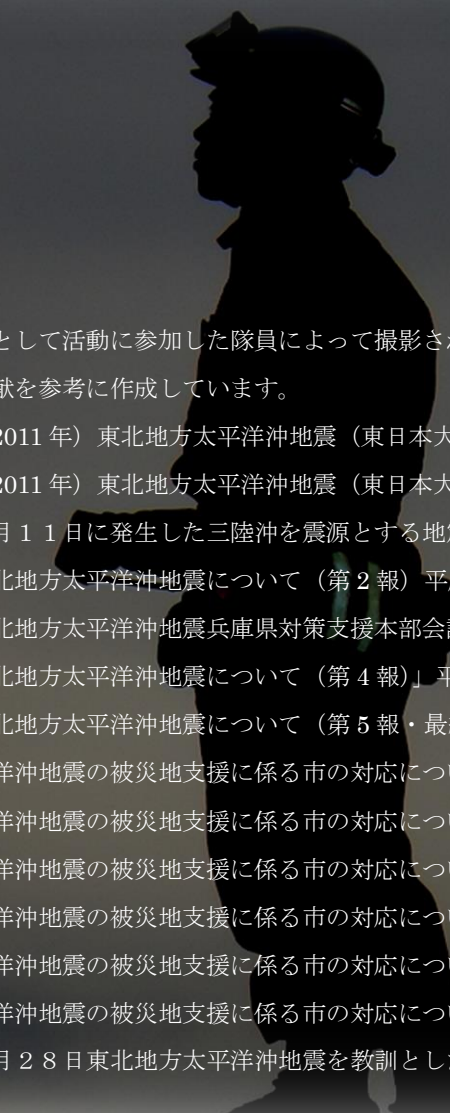
隊員手記

わたしが被災地の状況を
実際に自分の目で見たとき
連日テレビで放映されている映像に比べ
遠かに衝撃的な印象を受けました
それは常識では考えられない状況が
わたしの見渡す限り一面に広がっていました

「この現場をどう活動したらいいのだろう」
という疑問が浮かびました

その答えはこの広範囲な現場を足で歩
瓦礫と化した大量の木等を手でひとつずつ排除し
ひとつずつ確認していくものでした
「ここに要救助者がいる」という確かな情報もないまま
「助けたい」という気持ちだけが先走り
やきもきした気持ちで活動を続けていました

そんなとき倒壊した瓦礫の中から
ひとりの要救助者を発見したという情報が入りました
それは人々の手だけでの活動に限界を感じつつも
その手だけを使いひとつひとつ瓦礫を排除した結果
発見につながったものでした
わたしの手ではありませんでしたが
わたしたちの手でひとりの要救助者の発見に至ったことに対し
わたしたちが行っている活動は大変意義のある有効な活動であると
強く実感した瞬間でした



■ 本書に掲載される写真については、緊急消防援助隊として活動に参加した隊員によって撮影されたものです。

■ 本書に掲載される数値等については、以下の報、文献を参考に作成しています。

- ・政府 緊急災害対策本部 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について」平成23年7月26日(17:00)
- ・消防庁災害対策本部 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第134報)」平成23年7月28日(15:00)
- ・兵庫県災害警戒本部 「平成23年3月11日に発生した三陸沖を震源とする地震について(第1報)」平成23年3月11日(18:00)
「平成23年東北地方太平洋沖地震について(第2報)」平成23年3月11日(21:45)
「平成23年東北地方太平洋沖地震兵庫県対策支援本部会議資料(第3報)」平成23年3月12日
「平成23年東北地方太平洋沖地震について(第4報)」平成23年3月12日(18:30)
「平成23年東北地方太平洋沖地震について(第5報・最終報)」平成23年3月12日(22:30)
- ・東日本大震災明石市支援対策本部 「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について(第1報)」平成23年3月14日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について(第2報)」平成23年3月15日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について(第3報)」平成23年3月16日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について(第4報)」平成23年3月22日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について(第5報)」平成23年3月25日
「東北地方太平洋沖地震の被災地支援に係る市の対応について(第6報)」平成23年3月28日
- ・気象庁 「平成23年5月28日東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会資料」



明石市消防本部



東北地方太平洋沖地震

“明石市消防本部1,040時間の記録”